

## 主な県立施設の経営状況

### 1. 目的

県では、県民福祉の増進を目的に、県民が広く利用できる「公の施設」を設置しています。施設の管理運営は、県が自ら行うものや、財団や民間企業等に委託しているものがありますが、今後の効率的な施設運営、維持管理に役立てるため、ここでは、各施設が1つの法人になったと仮定して、企業会計的な手法を取り入れ、施設にかかっているすべてのコストを算定しました。

### 2. 対象施設

県が設置した施設で、市町に管理を委託している施設、利用者数・減価償却費などの把握が困難な施設、利用者が限定される試験研究機関等を除いた 34 施設について作成しました。対象施設と供用開始年度、指定管理者制度の導入状況は以下のとおりです。

教育研修			健康・スポーツ		
香川県青年センター	S44	◎	香川県立武道館	S41	◎
香川県立保健医療大学	H11		香川県立総合水泳プール	H 2	◎
香川県立高等技術学校	S42		香川県総合運動公園	S57	◎
香川県立農業大学校	S52		香川県立丸亀競技場	H 9	◎
香川県立五色台少年自然センター	S46		<b>公園</b>		
香川県立屋島少年自然の家	S50		瀬戸大橋記念公園	S63	◎
<b>福祉医療</b>			栗林公園	M 8	
香川県社会福祉総合センター	H 9	◎	香川用水記念公園	H 9	◎
さぬきこどもの国	H 7	◎	<b>産業振興</b>		
香川県立斯道学園	S22		香川県産業交流センター (サンメッセ香川)	H 5	◎
香川県立川部みどり園	S27		香川県新規産業創出支援センター (ネクスト香川)	H11	◎
香川県ふじみ園	S54	◎			
かがわ総合リハビリテーションセンター	S61	◎			
<b>生涯学習・文化・交流施設</b>			香川県科学技術研究センター (FROM香川)	H12	◎
情報通信交流館	H16	◎	<b>駐車場</b>		
香川県立文書館	H 5		香川県番町地下駐車場	H 5	◎
香川国際交流会館	H 7	◎	香川県玉藻町駐車場	H 9	◎
サンポート高松交流拠点施設	H16	◎	多目的広場地下駐車場	H16	◎
香川県立図書館	H 5		高松空港県営駐車場	H26	
香川県立ミュージアム	H11				
香川県県民ホール	S63	◎			
東山魁夷せとうち美術館	H17				

◎：指定管理者制度の導入施設

### 3. 作成基準

総務省が平成13年3月に策定した「地方公共団体のための総合的な財政分析に関する調査研究会報告書」に準じて作成しました。

従来からの決算収支をベースに、減価償却費、公債費（利子）等、その他施設にかかっているすべての費用（行政コスト）を明らかにしました。

例

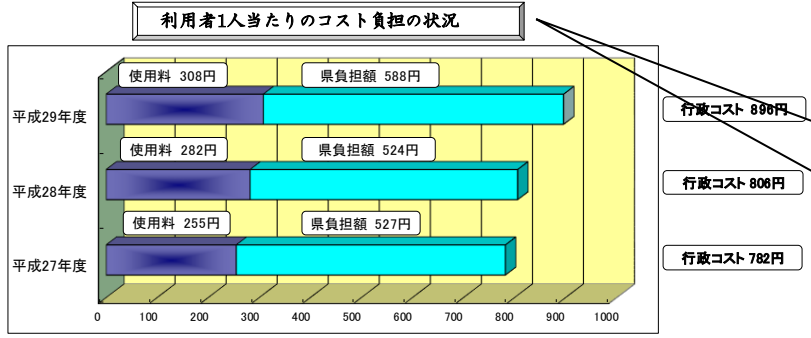
公共施設のコスト計算書					
施設名		香川県青年センター			
所在地	香川県高松市国分寺町国分1009番地	供用開始年度	昭和44年度		
施設の種類	青少年健全育成施設	施設設置根拠	香川県青年センター条例		
設置目的	青年に対し、研修、団体活動、国際交流その他の活動を提供することにより、青年の健全な育成を図ることを目的とする。				
施設運営方法	全部委託：指定管理者（香川県連合青年会）（平成24年12月1日から指定管理者制度を導入）				
整備事業費	765,085千円	施設の概要			
<p>【施設】</p> <p>研修宿泊棟(本館)、付属棟(別館)、倉庫棟、体育館、野外活動場(芝生広場、グラウンド)            ※研修宿泊棟、付属棟及び倉庫棟は平成24年10月に新築竣工、同年11月再オープン。            研修宿泊棟には、昇降機1基と太陽光発電システム(6.47kWh)を導入。            総敷地面積 20,257.18㎡ 建物延面積2,806.82㎡</p> <p>【職員の状況】</p> <p>平成24年4月1日～平成24年11月30日：直接運営            職員7名（正規職員2名、嘱託職員5名）            平成24年12月1日～平成30年3月31日：全部委託            職員8名（所長1名、部長1名、係4名、宿直員2名）</p>					
利用料金		使用料			
大会議室(4h)	3,600円				
小会議室(4h)	1,200円				
野外活動場(4h)	2,080円				
宿泊施設(1泊)	洋室1,790円、和室1,540円				
体育館(1hあたり)	全面1,470円、半面880円				
行政コスト計算書					
【行政コスト】 平成 29年度 (千円)					
	項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト	人件費	21,679	39.9%	21,189	490
	退職給与引当金繰入等	760	1.4%	760	
	小計	22,439	41.3%	21,189	1,250
物にかかるコスト	物件費	13,141	24.2%	12,365	776
	維持補修費	1,002	1.8%	704	298
	減価償却費	15,954	29.4%	15,954	
	その他				
	小計	30,097	55.4%	29,023	1,074
その他のコスト	公債費(利子のみ)	1,713	3.1%	1,686	27
	その他	101	0.2%	92	9
	小計	1,814	3.3%	1,778	36
行政コスト合計 ①		54,350	100.0%	51,990	2,360
【収入項目】					
	使用料・手数料	18,681	34.4%	18,194	487
	国庫支出金				
	その他				
	計 ②	18,681	34.4%	18,194	487
県単独負担額 ①-②		35,669	65.6%	33,796	1,873
●県債残高(H30.3.31現在) 333,084千円					
●利用の状況 (年間利用者数)					
	H27	69,933人			
	H28	64,528人			
	H29	60,650人			
●コスト指標 (利用者1人当たりのコスト)					
	H27	782円			
	H28	806円			
	H29	896円			
●コスト削減、利用向上に向けた取組み状況					
指定管理者制度導入によりコスト削減を図っている。 また、施設利用の促進については、指定管理者が自主事業として「香川県青年センター5周年感謝祭」や「ほたるのタベ(ホテルの飼育を通じた地域交流)」等を開催し、施設の知名度向上や年間利用者数の増加を図っている。					

土地取得費のほか、建物を建築するのに要した経費を記載しています。  
 （現存データを活用し、取得費が不明なものについては、記載していません。）

整備のためにあてた県債の残高を記載しています。

設備投資等、資産の形成にかかる経費を除いて、施設を運営するのに要したすべての経費を記載しています。  
 収入項目の「県単独負担額」とは、「行政コスト合計」から使用料等の収入を引いた額です。

利用1回当たり、利用者1人当たりにかかるコストを経年比較しています。



## 4. 概要一覧

### (I) 利用1回当たりのコスト

分類	名称	行政コスト (千円) ①	利用件数 ②	利用1回当たりのコスト (円) ①/②		財源内訳(円)			利用者 負担率	1回当たり コスト比較 H29/H28	利用件数 対前年度 増減率
						利用料	財産 収入等	県単独 負担額			
教育研修	香川県青年センター	54,350	60,650人	1人当たり	896	308	0	588	34.4%	111.2%	▲ 6.0%
	香川県立五色台少年自然センター	247,954	28,801人	1人当たり	8,609	303	1,812	6,494	3.5%	83.1%	▲ 1.3%
	香川県立屋島少年自然の家	186,701	31,085人	1人当たり	6,006	262	1,189	4,555	4.4%	104.5%	▲ 8.4%
福祉医療	香川県社会福祉総合センター	318,578	202,140人	1人当たり	1,576	220	66	1,290	14.0%	97.5%	4.9%
	さぬきこどもの国	709,849	671,483人	1人当たり	1,057	35	41	981	3.3%	97.4%	1.9%
生涯学習・文化・交流施設	情報通信交流館	205,762	125,878人	1人当たり	1,634	18	▲ 124	1,740	1.0%	98.4%	▲ 2.8%
	香川県立文書館	186,097	52,452人	1人当たり	3,548	122	11	3,415	3.5%	84.9%	17.4%
	香川国際交流会館	60,779	81,208人	1人当たり	748	71	0	677	9.4%	88.1%	2.7%
	サンポート高松交流拠点施設	553,153	利用の状況: 国際会議場 稼働率53.4%、展示場 稼働率48.2%、観光情報センター 利用者数49,596人 産業振興センター 入居率100%、屋外広場 稼働率21.7%、タワー地下駐車場 利用台数32,232台								
	香川県立図書館	370,935	448,778人	1人当たり	827	0	3	824	0.1%	97.9%	▲ 5.8%
	香川県立ミュージアム	755,653	124,564人	1人当たり	6,066	188	178	5,700	3.1%	128.4%	▲ 25.7%
	香川県県民ホール	833,954	372,444人	1人当たり	2,239	304	120	1,815	13.5%	112.5%	▲ 7.3%
	東山魁夷せとうち美術館	91,951	43,321人	1人当たり	2,123	159	208	1,756	7.5%	106.7%	▲ 16.5%
健康・スポーツ	香川県立武道館	54,985	63,301人	1人当たり	869	43	100	726	4.9%	99.7%	0.8%
	香川県立総合水泳プール	201,577	150,639人	1人当たり	1,338	173	197	968	13.0%	104.4%	4.0%
	香川県総合運動公園	195,236	297,366人	1人当たり	656	77	63	516	11.7%	91.9%	1.3%
	香川県立丸亀競技場	524,346	386,463人	1人当たり	1,356	86	61	1,209	6.4%	89.8%	1.9%
公園	瀬戸大橋記念公園	316,187	379,700人	1人当たり	832	10	146	676	1.2%	115.9%	▲ 11.5%
	栗林公園	418,659	773,370人	1人当たり	541	331	27	183	61.0%	95.4%	9.0%
	香川用水記念公園	83,331	67,450人	1人当たり	1,235	0	0	1,235	0.0%	91.6%	2.9%
産業振興	香川県産業交流センター (サンメッセ香川)	361,179	644,000人	1人当たり	560	334	3	223	59.6%	101.6%	0.0%
駐車場	香川県番町地下駐車場	134,839	101,005台	1台当たり	1,335	690	10	635	51.7%	97.8%	2.4%
	香川県玉藻町駐車場	113,022	65,650台	1台当たり	1,722	817	0	905	47.5%	113.4%	▲ 10.4%
	多目的広場地下駐車場	195,230	123,682台	1台当たり	1,578	730	0	848	46.3%	95.7%	▲ 0.2%
	高松空港県営駐車場	3,137	35,234台	1台当たり	89	89	0	0	100.0%	82.4%	3.4%

(Ⅱ) 1人当たりの年間利用コスト

分類	名称	行政コスト (千円) ①	利用件数 ②	1人当たりのコスト (円) ①/②		財源内訳(円)			利用者 負担率	1人当たり コスト比較 H29/H28	利用件数 対前年度 増減率
						利用料	財産 収入等	県単独 負担額			
教育研修	香川県立保健医療大学	1,078,010	390人	1人当たり	2,764,128	575,318	45,956	2,142,854	20.8%	98.2%	1.6%
	香川県立高等技術学校	568,756	1,051人	1人当たり	541,157	14,100	215,583	311,474	2.6%	103.1%	▲ 6.8%
	香川県立農業大学校	246,106	98人	1人当たり	2,511,286	77,918	150,439	2,282,929	3.2%	113.9%	▲ 3.0%
福祉医療	香川県立斯道学園	226,880	10人	1人当たり	22,688,000	6,860,200	142,800	15,685,000	30.3%	95.9%	0.0%
	香川県立川部みどり園	718,846	84人	1人当たり	8,557,690	3,196,690	30,131	5,330,869	37.3%	103.8%	1.2%
	香川県ふじみ園	579,065	169人	1人当たり	3,426,420	2,688,627	267,213	470,580	78.5%	99.7%	▲ 0.6%
	かがわ総合リハビリテーションセンター	2,929,788	499.7人	1人当たり	5,863,094	4,445,327	8,908	1,408,859	75.8%	89.1%	9.1%
産業振興	香川県新規産業創出支援センター(ネクスト香川)	79,768	154企業・グループ	1企業・グループ 当たり(年間)	517,974	384,266	0	133,708	74.2%	150.2%	▲ 28.7%
	香川県科学技術研究センター(FROM香川)	70,161	41企業・グループ	1企業・グループ 当たり(年間)	1,711,244	894	0	1,710,350	0.1%	46.2%	115.8%

注) 福祉施設の利用料には、自立支援給付費等が含まれます。

注) 香川県新規産業創出支援センターと香川県科学技術研究センターは、利用した1企業・グループ当たりの年間コストを算出しています。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県青年センター		
所在地	香川県高松市国分寺町国分1009番地	供用開始年度	昭和44年度
施設の種類	青少年健全育成施設	施設設置根拠	香川県青年センター条例
設置目的	青年に対し、研修、団体活動、国際交流その他の活動を提供することにより、青年の健全な育成を図ることを目的とする。		
施設運営方法	全部委託：指定管理者（香川県連合青年会）（平成24年12月1日から指定管理者制度を導入）		
整備事業費	765,085千円	施設の概要	
		【施設】	研修宿泊棟(本館)、付属棟(別館)、倉庫棟、体育館、野外活動場(芝生広場、グラウンド) ※研修宿泊棟、付属棟及び倉庫棟は平成24年10月に新築竣工、同年11月再オープン。 研修宿泊棟には、昇降機1基と太陽光発電システム(6.47kWh)を導入。 総敷地面積 20,257.18㎡ 建物延面積2,806.82㎡
利用料金	使用料	【職員の状況】	
大会議室(4h)	3,600円	平成24年4月1日～平成24年11月30日：直接運営	
小会議室(4h)	1,200円	職員7名(正規職員2名、嘱託職員5名)	
野外活動場(4h)	2,080円	平成24年12月1日～平成30年3月31日：全部委託	
宿泊施設(1泊)	洋室1,790円、和室1,540円	職員8名(所長1名、部長1名、係4名、宿直員2名)	
体育館(1hあたり)	全面1,470円、半面880円		

行政コスト計算書

【行政コスト】 平成 29 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	21,679	39.9%	21,189	490
	退職給与引当金繰入等	760	1.4%		760
	小計	22,439	41.3%	21,189	1,250
物にかかるコスト	物件費	13,141	24.2%	12,365	776
	維持補修費	1,002	1.8%	704	298
	減価償却費	15,954	29.4%	15,954	
	その他				
小計	30,097	55.4%	29,023	1,074	
その他のコスト	公債費(利子のみ)	1,713	3.1%	1,686	27
	その他	101	0.2%	92	9
	小計	1,814	3.3%	1,778	36
行政コスト合計 ①	54,350	100.0%	51,990	2,360	

【収入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
使用料・手数料	18,681	34.4%	18,194	487
国庫支出金				
その他				
計 ②	18,681	34.4%	18,194	487
県単独負担額 ①-②	35,669	65.6%	33,796	1,873

●県債残高(H30.3.31現在)

333,084 千円

●利用の状況

(年間利用者数)

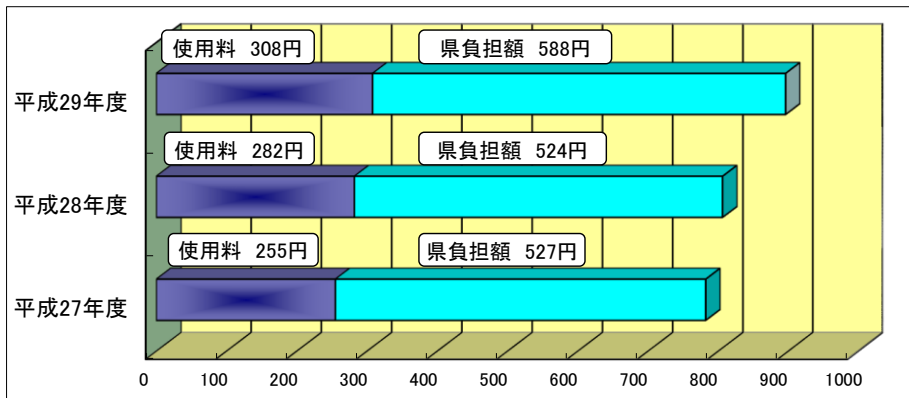
H27	63,933人
H28	64,528人
H29	60,650人

●コスト指標

(利用者1人当たりのコスト)

H27	782円
H28	806円
H29	896円

利用者1人当たりのコスト負担の状況



行政コスト 896円

行政コスト 806円

行政コスト 782円

●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

指定管理者制度導入によりコスト縮減を図っている。

また、施設利用の促進については、指定管理者が自主事業として「香川県青年センター5周年感謝祭」や「はたのの夕べ(ホテルの飼育を通じた地域交流)」等を開催し、施設の知名度向上や年間利用者数の増加を図っている。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県立保健医療大学		
所在地	高松市牟礼町原281-1	供用開始年度	平成11年度
施設の種類	香川県立保健医療大学	施設設置根拠	香川県立保健医療大学条例
設置目的	保健医療に関する高度の専門的な知識及び技術を教授研究し、県民の保健医療の向上と福祉の増進に寄与する。		
施設運営方法	直接運営		
整備事業費	10,667,959千円	施設の概要	
県債	9,945,000千円	【施設】敷地面積	50,751 m <sup>2</sup>
一般財源	700,547千円	建物	管理研究棟 2,654 m <sup>2</sup> その他 349 m <sup>2</sup>
その他	22,412千円	講義棟	4,719 m <sup>2</sup>
		実習棟	5,005 m <sup>2</sup>
		厚生棟	1,982 m <sup>2</sup>
利用料金	大 学	教育研究棟	244 m <sup>2</sup>
授業料	535,800円	体育館	1,168 m <sup>2</sup>
入学料(県内)	197,400円	【職員の状況】	
入学料(県外)	366,600円	職員 64人、嘱託6人、臨時職員1人 計71人	
入学選考料	17,000円	(職員内訳 教員 52人、事務 12人)	

行政コスト計算書

【行政コスト】	平成	29 年度	(千円)	
項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト				
人件費	622,856	57.8%	613,582	9,274
退職給与引当金繰入等	23,726	2.2%	33,495	△ 9,769
小計	646,582	60.0%	647,077	△ 495
物にかかるコスト				
物件費	226,808	21.0%	227,817	△ 1,009
維持補修費	6,539	0.6%	6,761	△ 222
減価償却費	187,246	17.4%	187,246	
その他				
小計	420,593	39.0%	421,824	△ 1,231
その他のコスト				
公債費(利子のみ)	10,835	1.0%	11,817	△ 982
その他				
小計	10,835	1.0%	11,817	△ 982
行政コスト合計 ①	1,078,010	100.0%	1,080,718	△ 2,708

●県債残高(H30.3.31現在)

3,957,927 千円

●利用の状況

(在学生数)

H27	387人
H28	384人
H29	390人

(定員に対する学生の割合)

H27	100.26%
H28	99.48%
H29	99.49%

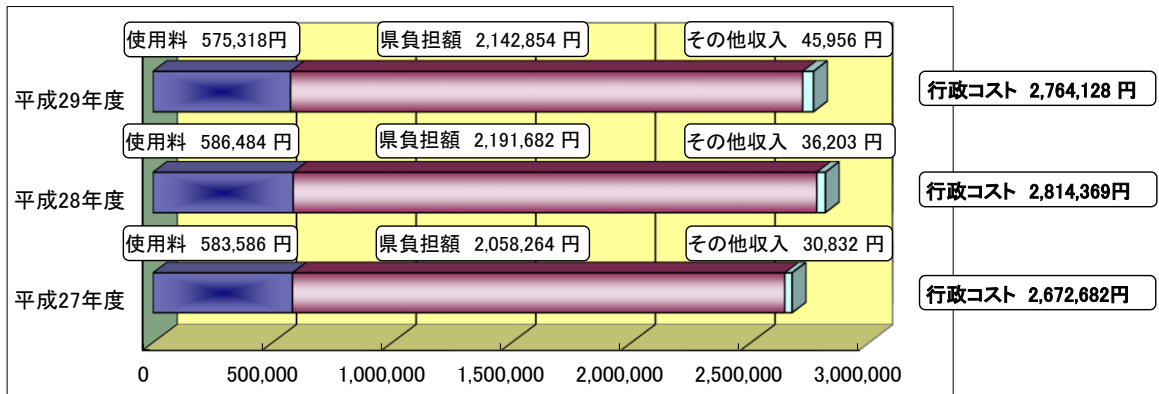
●コスト指標

(学生1人当たりにかかるコスト)

H27	2,672,682円
H28	2,814,369円
H29	2,764,128円

【収入項目】				
使用料・手数料	224,374	20.8%	225,210	△ 836
国庫支出金				
その他	17,923	1.7%	13,902	4,021
計 ②	242,297	22.5%	239,112	3,185
県単独負担額 ①-②	835,713	77.5%	841,606	△ 5,893

学生1人当たりのコスト負担の状況



●コスト削減、利用向上に向けた取組み状況

オープンキャンパス、進路説明会への出席、高校生の大学見学受入、高校訪問、高校教員への大学紹介・入試説明会の開催などのPRや、奨学寄附金など外部資金の獲得に努めた。また、委託業務内容や入札方法の見直しなど、経費削減に努めた。さらに、平成24年度に助産学専攻科を開設、平成29年度には大学院博士後期課程臨床検査学専攻を開設するなど、教育研究機能の強化・充実に取り組んでいる。また、地域社会に貢献する開かれた大学とするため、地域連携推進センターを設置している。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県立高等技術学校		
所在地	高松市郷東町587-1	供用開始年度	昭和42年度
施設の種類	職業能力開発施設	施設設置根拠	職業能力開発促進法、香川県職業訓練の基準に関する条例、香川県立高等技術学校条例
設置目的	職業に必要な技能及びこれに関する知識を習得することにより、地域産業界の発展に寄与する。		
施設運営方法	直接運営		
整備事業費		施設の概要	
		【施設】	
		鉄筋コンクリート造、鉄骨造、鉄骨スレート など	
		高松校舎 延床面積 12,086.07㎡ 敷地面積 25,066.39㎡	
		丸亀校舎 延床面積 4,683.06㎡ 敷地面積 7,342㎡	
利用料金	授業料等	【職員の状況】	
在職者訓練	1,000円～12,000円	職員 40名、嘱託職員 23名、 計63名	
求職者に対する職業訓練	無料	(再任用含む)	
	(ただし、教材費等要)		
普通課程の施設内職業訓練	年額118,800円他		

行政コスト計算書

【行政コスト】 平成 29 年度 (千円)

●県債残高(H30.3.31現在)

346,137 千円

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト				
人件費	338,832	59.6%	333,118	5,714
退職給与引当金繰入等				
小計	338,832	59.6%	333,118	5,714
物にかかるコスト				
物件費	169,191	29.7%	216,873	△ 47,682
維持補修費	19,422	3.4%	335	19,087
減価償却費	38,536	6.8%	38,536	
その他				
小計	227,149	39.9%	255,744	△ 28,595
その他のコスト				
公債費(利子のみ)	2,775	0.5%	3,040	△ 265
その他				
小計	2,775	0.5%	3,040	△ 265
行政コスト合計 ①	568,756	100.0%	591,902	△ 23,146

●利用の状況

(年間入校生数)+(在校生(進級者)数)

H27	917人
H28	902人
H29	849人

(在職者訓練・オーダーメイド訓練生数)

H27	189人
H28	226人
H29	202人

●コスト指標

(訓練生1人当たりのコスト)

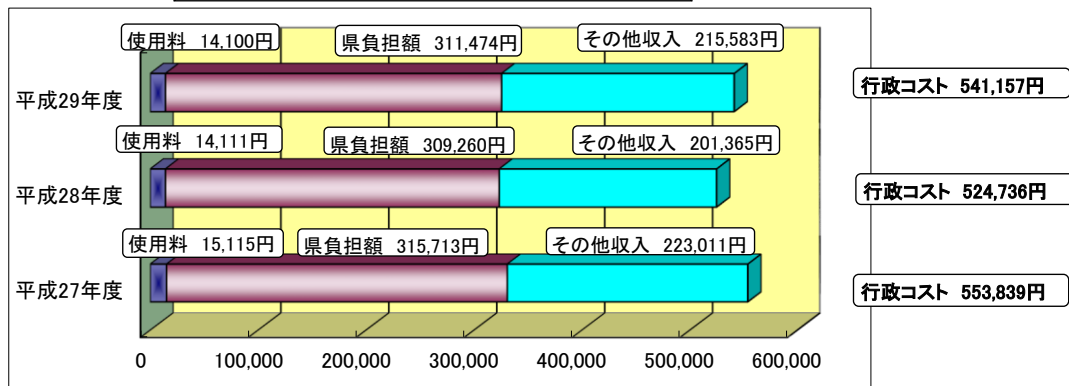
H27	553,839円
H28	524,736円
H29	541,157円

※在職者訓練を含めたコスト

【収入項目】

項目	金額	割合	前年度	増減
使用料・手数料	14,819	2.6%	15,917	△ 1,098
国庫支出金	224,951	39.5%	222,622	2,329
その他	1,627	0.3%	4,518	△ 2,891
計 ②	241,397	42.4%	243,057	△ 1,660
県単独自負担額 ①-②	327,359	57.6%	348,845	△ 21,486

訓練生1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

平成23年度から1校2キャンパス制の導入及び地域職業訓練センターを統合し、事務事業の一元化及び光熱水費等の削減に努めて、経費節減を行っている。29年度は人件費について、正規職員の増、嘱託職員の減などにより人件費は増加となった。訓練生数は年々減少してきており、物件費は減少した。  
県内の雇用情勢が改善している中で、職業訓練を受講する訓練生は大幅に減少しており、今後においても引き続き、訓練科の再編、訓練コースの見直しや、より効果的なPRも含め、利用向上に向けて取組んでいく。

# 公共施設のコスト計算書

施設名	香川県立農業大学校		
所在地	仲多度郡琴平町榎井34-3	供用開始年度	昭和52年度
施設の種類	教育研修	施設設置根拠	農業改良助長法、香川県立農業大学校条例
設置目的	次代の農業を担い、地域における農業の振興に指導的役割を果たす者を養成し、近代的な農業を推進する農業者等の研修を行う。		
施設運営方法	直接運営		
整備事業費		施設の概要	
		【施設】	
		総土地面積74,180㎡(実習農場38,853㎡ 機械練習場15,635㎡)	
		建物敷地等19,692㎡	
		建物 本館(事務室、職員室、会議室、図書室、教室等) 寮舎 体育館 食堂 学生会館	
利用料金	授業料	【職員の状況】	
授業料	118,800円	正規職員14人、再任用職員2人、嘱託職員14人	計30人
就農準備研修	17,480円		
就農実践研修	41,140円		
農業機械利用技能者養成研修Ⅰ、Ⅱ	2,050円		

行政コスト計算書					
【行政コスト】					
		平成	29年度	(千円)	
項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	167,403	68.0%	169,391	△ 1,988
	退職給与引当金繰入等	21,270	8.6%		21,270
	小計	188,673	76.6%	169,391	19,282
物にかかるコスト	物件費	26,262	10.7%	25,473	789
	維持補修費	9,756	3.9%	12,189	△ 2,433
	減価償却費	15,433	6.3%	15,433	
	その他	5,951	2.4%		5,951
小計	57,402	23.3%	53,095	4,307	
その他のコスト	公債費(利子のみ)	31	0.1%	133	△ 102
	その他				
	小計	31	0.1%	133	△ 102
行政コスト合計 ①	246,106	100.0%	222,619	23,487	
【収入項目】					
使用料・手数料	7,878	3.2%	8,389	△ 511	
国庫支出金	2,500	1.0%	2,515	△ 15	
その他	12,001	4.9%	12,473	△ 472	
計 ②	22,379	9.1%	23,377	△ 998	
県単独負担額 ①-②	223,727	90.9%	199,242	24,485	

●県債残高(H30.3.31現在)

10,283 千円

●利用の状況

(在学生数)

H27	103人
H28	101人
H29	98人

(定員に対する学生の割合)

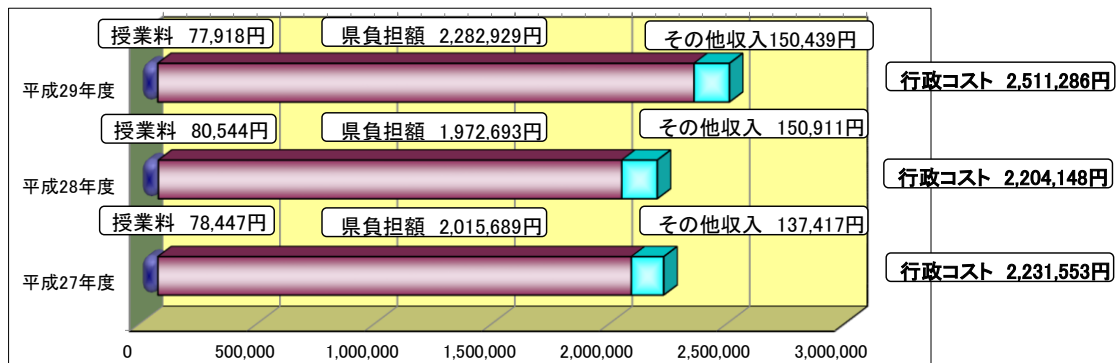
H27	76.3%
H28	74.8%
H29	72.6%

●コスト指標

(学生1人当たりにかかるコスト)

H27	2,231,553円
H28	2,204,148円
H29	2,511,286円

## 学生1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

農業情勢の変化や学生・研修生の実態を踏まえ、担い手養成科では、農業経営について直接農家から学ぶ機会の拡充や、カリキュラムの見直しによる研修教育の向上に努めた。技術研修科では、就農基礎講座や企業的経営感覚を備えたリーダーを養成するかがわ農業MBA塾を新たに開講する等、ニーズに対応した研修の実施に努めた。



公共施設のコスト計算書

施設名	香川県立五色台少年自然センター		
所在地	高松市生島町423	供用開始年度	昭和46年度
施設の種類	社会教育施設	施設設置根拠	香川県立五色台少年自然センター条例
設置目的	自然の環境の中で行う集団宿泊学習、野外活動等を通じ、青少年の心身の健全な育成を図ることを目的とする。		
施設運営方法	一部委託: 委託内容(施設及び設備の維持管理業務、給食管理等業務、給食調理業務、利用者の送迎業務)		
整備事業費	1,105,776千円	施設の概要	
国庫支出金	35,000千円	【施設】 本館、宿泊棟、研修棟、天体観測棟、野外活動棟等 敷地面積 134,950.71㎡ 延床面積 10,268.94㎡	【自然科学館はコスト計算の対象外である。】
一般財源	1,070,776千円		
利用料金	使用料		
一般	920円	【職員の状況】 平成30年3月31日現在	
小学生以下(学校行事等)	330(250)円	正規職員12名 嘱託職員2名 計14名	
中学生(学校行事等)	440(360)円	公益財団法人香川県児童・青少年健全育成事業団五色台事業所職員	
高校生(学校行事等)	520(440)円	嘱託職員3名 計3名	

行政コスト計算書					
【行政コスト】 平成 29 年度 (千円)					
項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	110,663	44.6%	110,424	239
	退職給与引当金繰入等			56,845	△ 56,845
	小計	110,663	44.6%	167,269	△ 56,606
物にかかるコスト	物件費	79,380	32.0%	79,522	△ 142
	維持補修費	5,436	2.2%	3,715	1,721
	減価償却費	51,208	20.7%	51,208	
	その他				
小計	136,024	54.9%	134,445	1,579	
その他のコスト	公債費(利子のみ)	1,267	0.5%	864	403
	その他				
	小計	1,267	0.5%	864	403
行政コスト合計 ①	247,954	100.0%	302,578	△ 54,624	
【収入項目】					
使用料・手数料	8,735	3.5%	9,023	△ 288	
国庫支出金					
その他	52,187	21.0%	51,253	934	
計 ②	60,922	24.5%	60,276	646	
県単独負担額 ①-②	187,032	75.5%	242,302	△ 55,270	

● 県債残高(H30.3.31現在) 534,204 千円

● 利用の状況 (年間利用者数)

H27	33,824人
H28	29,189人
H29	28,801人

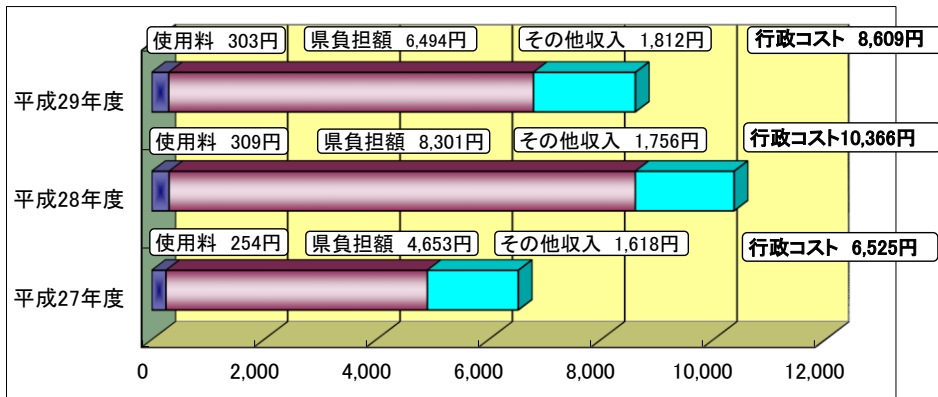
(年間利用団体数)

H27	109団体
H28	104団体
H29	110団体

● コスト指標 (利用者1人当たりのコスト)

H27	6,525円
H28	10,366円
H29	8,609円

利用者1人当たりのコスト負担の状況



● コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

28年度に利用のあった千人以上規模の団体の利用がなかったため利用者数が減少したが、一般団体が出来るだけ利用しやすいように要望に沿って柔軟に対応した。  
 管理運営経費の縮減に努め、電気使用量については前年度より削減できた。  
 また、公民館・幼稚園・大学等に利用案内を行うとともに、宿泊室への金庫の設置や受付期間を改善するなど利用向上に努めた。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県立屋島少年自然の家		
所在地	高松市屋島東町34-1	供用開始年度	昭和50年度
施設の種類	社会教育施設	施設設置根拠	香川県立屋島少年自然の家条例
設置目的	自然の環境の中で行う集団宿泊学習、野外活動等を通じ、青少年の心身の健全な育成を図ることを目的とする。		
施設運営方法	一部委託:委託内容(給食等の提供業務)		
整備事業費	949,000千円	施設の概要	
国庫支出金	60,000千円	【施設】	
県債	144,000千円	管理棟、第1宿泊棟、第2宿泊棟、体育館等	
一般財源	739,000千円	敷地面積 84,531.65㎡	
その他	6,000千円	延床面積 6,768.73㎡	
利用料金	使用料	【職員の状況】平成30年3月31日現在	
一般	920円	正規職員 10名 計10名	
小学生以下(学校行事等)	330(250)円	公益財団法人香川県児童・青少年健全育成事業団屋島事業所職員	
中学生(学校行事等)	440(360)円	正規職員 1名 計1名	
高校生(学校行事等)	520(440)円		

行政コスト計算書

【行政コスト】 平成 29 年度 (千円)

●県債残高(H30.3.31現在) 206,840 千円

項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	91,839	49.2%	91,879	△ 40
	退職給与引当金繰入等			14,620	△ 14,620
	小計	91,839	49.2%	106,499	△ 14,660
物にかかるコスト	物件費	53,065	28.4%	52,100	965
	維持補修費	4,086	2.2%	3,085	1,001
	減価償却費	36,621	19.6%	32,646	3,975
	その他				
小計	93,772	50.2%	87,831	5,941	
その他のコスト	公債費(利子のみ)	1,090	0.6%	754	336
	その他				
	小計	1,090	0.6%	754	336
行政コスト合計 ①	186,701	100.0%	195,084	△ 8,383	

●利用の状況

(年間利用者数)

H27	33,529人
H28	33,950人
H29	31,085人

(年間利用団体数)

H27	179団体
H28	208団体
H29	194団体

●コスト指標

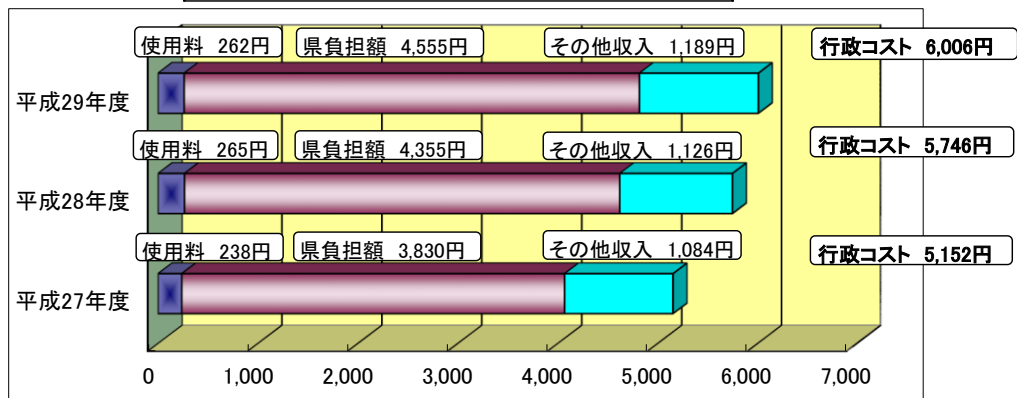
(利用者1人当たりのコスト)

H27	5,152円
H28	5,746円
H29	6,006円

【収入項目】

項目	金額	構成比	前年度	増減
使用料・手数料	8,140	4.4%	9,005	△ 865
国庫支出金				
その他	36,969	19.8%	38,225	△ 1,256
計 ②	45,109	24.2%	47,230	△ 2,121
県単独自負担額 ①-②	141,592	75.8%	147,854	△ 6,262

利用者1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

運営経費の部分において縮減に努めた。なお、平成29年度は1月から3月までの間、宿泊棟・食堂棟のボイラー改修工事を実施したため、利用者が減少した。

公共施設のコスト計算書

施設名		香川県社会福祉総合センター	
所在地	高松市番町一丁目10番35号	供用開始年度	平成9年度
施設の種類	健康福祉施設	施設設置根拠	香川県社会福祉総合センター条例
設置目的	社会福祉に関する活動の振興を図り、もって県民の福祉の増進に資する。		
施設運営方法	全部委託：指定管理者（（公財）かがわ健康福祉機構）		
整備事業費	9,799,848千円	施設の概要	<b>【施設】</b> 鉄筋鉄骨コンクリート造 地上7階、地下3階、塔屋1階 敷地面積 2,452.87㎡、延床面積13,290.82㎡ 建設手法 香川県、（福）香川県社会福祉協議会、（財）香川県婦人教育協会、（財）香川県自治協会、日本赤十字社及び四国電力㈱の合築方式
県債	9,322,000千円	<b>【職員の状況】</b> 常勤の役員数 理事長1名、専務理事1名 職員数 財団職員1名、嘱託職員6名、事務職員6名 計13名 注1) 整備事業費には、合築方式による県以外の各団体の負担額は含まない。 注2) 職員数は、（公財）かがわ健康福祉機構の職員のうち、香川県社会福祉総合センターの管理運営業務に従事する職員数を計上。 注3) 貸室使用料、健康プレイルーム個人使用料、駐車場使用料には、減免の制度がある。	
一般財源	442,689千円		
その他	35,159千円		
利用料金	利用料		
貸室使用料(全日の場合)/冷暖房使用料別途	2,220円～59,380円		
健康プレイルーム個人使用料①、駐車場使用料(1台につき25分あたり)②	①200円 ②100円		
ボランティア・男女共同参画交流室、福祉ライブラリー、福祉用具展示場「なんでも館」、健康福祉情報システム(専用端末、インターネット等による健康福祉情報提供サービス)	無料		

行政コスト計算書				
【行政コスト】 平成 29 年度 (千円)				
項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト	人件費	56,634 17.8%	45,590	11,044
	退職給与引当金繰入等			
	小計	56,634 17.8%	45,590	11,044
物にかかるコスト	物件費	101,812 32.0%	101,357	455
	維持補修費	14,783 4.6%	8,341	6,442
	減価償却費	132,360 41.6%	132,360	
	その他	4,582 1.4%	3,671	911
	小計	253,537 79.6%	245,729	7,808
その他のコスト	公債費(利子のみ)	8,407 2.6%	20,182	△ 11,775
	その他			
	小計	8,407 2.6%	20,182	△ 11,775
行政コスト合計 ①	318,578 100.0%	311,501	7,077	
【収入項目】				
利用料	44,525 14.0%	43,536	989	
国庫支出金				
その他	13,318 4.2%	13,203	115	
計 ②	57,843 18.2%	56,739	1,104	
県単独負担額 ①-②	260,735 81.8%	254,762	5,973	

● 県債残高(H30.3.31現在) 1,065,878 千円

● 利用の状況 (年間利用者数)

H27	199,470人
H28	192,679人
H29	202,140人

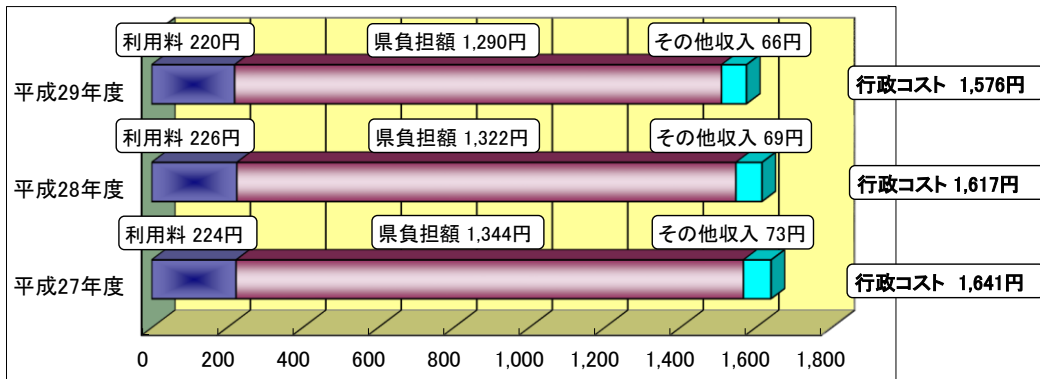
(貸室の月平均利用件数)

H27	380.5 件/月
H28	385.5 件/月
H29	383.6 件/月

● コスト指標 (利用者1人当たりにかかるコスト)

H27	1,641円
H28	1,617円
H29	1,576円

利用者1人当たりのコスト負担の状況



● コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

- ・ 1Fなんでも館ダウンライト照明をLEDに交換し、環境エコ対策及び電力使用の節約を図った。(平成29年6月)
- ・ 7F女子トイレ2箇所を和式から洋式に変更し、利便性の向上を図った。(平成29年12月)
- ・ 3Fプレイルーム照明をLEDに交換し、環境エコ対策及び電力使用の節約を図った。(平成30年2月)
- ・ 駐車場出入口のライン引きを行い安全性の向上を図った。(平成30年3月)
- ・ 1F正面玄関及びエレベーター前通路照明をLEDに交換し、環境エコ対策及び電力使用の節約を図った。(平成30年3月)
- ・ 専門業者による調理室特別清掃を行い衛生面の向上を図った。(平成30年3月)

# 公共施設のコスト計算書

施設名	さぬきこどもの国		
所在地	高松市香南町由佐3209	供用開始年度	平成7年度
施設の種類	大型児童館	施設設置根拠	児童福祉法、さぬきこどもの国条例
設置目的	児童に健全な遊びと創造的活動の場を提供するとともに、科学との触れ合いを通じて児童の科学に親しむ心を育み、次代の社会を担う児童の健全な育成と資質の向上を図ることを目的として建設された大型児童館である。		
施設運営方法	全部委託：指定管理者(公益財団法人香川県児童・青少年健全育成事業団)		
整備事業費(千円)	12,808,271千円	施設の概要	
県債	9,457,400千円	【施設】 大型児童館 鉄筋コンクリート3階建 延床面積 5,009.92㎡ 屋外施設 サイクルセンター、屋外遊具、芝生広場等	
一般財源	3,345,371千円		
寄付金	5,500千円		
		【事業団職員の状況】 指定管理者職員25人	
利用費目	利用料		
スペースシアター	500円から		
自転車使用料	200円から		

## 行政コスト計算書

【行政コスト】 平成 29 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト	人件費	94,402 13.3%	90,489	3,913
	退職給与引当金繰入金等	2,151 0.3%	2,148	3
	小計	96,553 13.6%	92,637	3,916
物にかかるコスト	物件費	251,399 35.4%	261,103	△ 9,704
	維持補修費	35,702 5.0%	35,265	437
	減価償却費	324,556 45.7%	324,556	
	その他	1,639 0.3%	1,574	65
小計	613,296 86.4%	622,498	△ 9,202	
その他のコスト	公債費(利子のみ)			
	その他			
小計				
行政コスト合計 ①	709,849 100.0%		715,135	△ 5,286

【収入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
利用料	23,506 3.3%	23,369	137	
国庫支出金				
その他	27,841 3.9%	29,738	△ 1,897	
計 ②	51,347 7.2%	53,107	△ 1,760	
県単独負担額 ①-②	658,502 92.8%	662,028	△ 3,526	

●県債残高(H30.3.31現在)

— 千円

●利用の状況

(年間入園者数)

H27	692,318人
H28	658,782人
H29	671,483人

(スペースシアター、貸自転車の利用率)

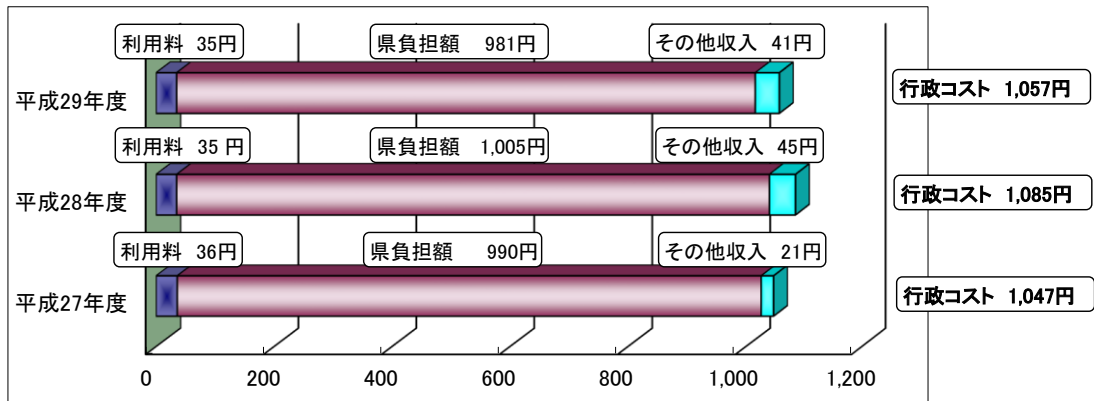
H27	24.3%
H28	23.6%
H29	23.2%

●コスト指標

(入園者1人当たりにかかるコスト)

H27	1,047円
H28	1,085円
H29	1,057円

## 入園者1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

平成18年度から指定管理者制度を導入し、人件費の削減などコスト削減の取り組みを行っている。また、利用向上に向けて、マスメディアやホームページを活用し、広報周知を一層図るほか、新たな企画事業の取組や地域の子育て支援NPO等と協働し、児童健全育成事業に取り組むこととしている。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県立斯道学園		
所在地	高松市西宝町2-6-9	供用開始年度	昭和22年度
施設の種類	児童自立支援施設	施設設置根拠	児童福祉法、香川県立斯道学園条例
設置目的	不良行為をなし、又はなすおそれのある児童及び家庭環境その他環境上の理由により生活指導等を要する児童を入所させ、又は保護者の下から通わせて、個々の児童の状況に応じて必要な指導を行い、その自立を支援し、あわせて退所した者について相談その他の援助を行うこと。		
施設運営方法	直接運営		
整備事業費		施設の概要	
		【施設】 本館 鉄筋コンクリート造3F 1,674.75㎡ 事務室、教室等	
		体育館 鉄筋コンクリート造1F 464.00㎡	
		男子寮 鉄筋コンクリート造1F 646.62㎡	
		女子寮 鉄筋コンクリート造1F 322.14㎡	
		入所可能人数 30人	
利用料金		【職員の状況】	
保護者の所得に応じ負担		正規職員20人 嘱託職員9人(うち嘱託医2人) 計29人	

行政コスト計算書					
【行政コスト】 平成 29 年度 (千円)					
項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	165,861	73.1%	171,464	△ 5,603
	退職給与引当金繰入等			3,504	△ 3,504
	小計	165,861	73.1%	174,968	△ 9,107
物にかかるコスト	物件費	40,801	18.0%	42,055	△ 1,254
	維持補修費	94	0.0%	163	△ 69
	減価償却費	15,145	6.7%	15,145	
	その他				
	小計	56,040	24.7%	57,363	△ 1,323
その他のコスト	公債費(利子のみ)	2,098	0.9%	782	1,316
	その他	2,881	1.3%	3,407	△ 526
	小計	4,979	2.2%	4,189	790
行政コスト合計 ①	226,880	100.0%	236,520	△ 9,640	
【収入項目】					
措置費(本人・県負担分等)	41,509	18.3%	29,973	11,536	
措置費(国庫支出金)	27,093	12.0%	25,886	1,207	
その他	1,428	0.6%	2,116	△ 688	
計 ②	70,030	30.9%	57,975	12,055	
県単独負担額 ①-②	156,850	69.1%	178,545	△ 21,695	

●県債残高(H30.3.31現在) 866,980 千円

●利用の状況 (入所者1人当たりの平均措置費)

H27	5,773,167円
H28	5,585,900円
H29	6,860,200円

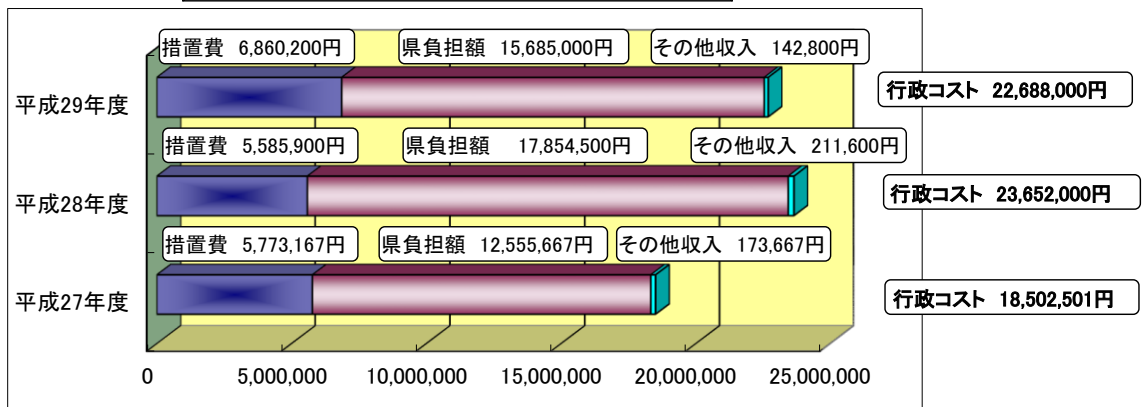
(入所者数)

H27	12人
H28	10人
H29	10人

●コスト指標 (入所者1人当たりにかかるコスト)

H27	18,502,501円
H28	23,652,000円
H29	22,688,000円

入所者1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取り組み状況  
光熱水費の削減に取り組む。

※入所者数は、月初日措置者数の平均  
入所者1人当たりのコストは1人が1年間入所した場合の経費

# 公共施設のコスト計算書

施設名	香川県立川部みどり園		
所在地	高松市川部町418	供用開始年度	昭和27年度（※1）
施設の種類	障害者支援施設・福祉型障害児入所施設	施設設置根拠	知的障害者福祉法、児童福祉法、障害者総合支援法 香川県立川部みどり園条例
設置目的	障害を持つ児・者の福祉の増進を図る。		
施設運営方法	直接運営		
整備事業費	3,893,560千円	施設の概要	
国庫支出金	252,575千円	【施設】 障害者支援施設 鉄筋コンクリート1F 2,559.77㎡ 定員(入所60名、通所20名) 定員(施設入所支援35名、生活介護42名、生活訓練12名 就労移行支援6名) 児施設 鉄筋コンクリート1F 1,282.22㎡ 定員35名	
県債	2,964,000千円		
一般財源	676,985千円		
利用料金		【職員の状況】 正規職員61人 嘱託職員28人(うち2名は嘱託医) 臨時職員5人 計94人  ※1 知的障害児施設の設置年度	
本人・保護者の所得に応じ負担			

## 行政コスト計算書

【行政コスト】		平成	29年度	(千円)	
項目		当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト	人件費	455,745	63.4%	455,560	185
	退職給与引当金繰入等	16,822	2.3%		16,822
	小計	472,567	65.7%	455,560	17,007
物にかかるコスト	物件費	107,971	15.0%	102,513	5,458
	維持補修費	18,548	2.6%	6,968	11,580
	減価償却費	113,591	15.8%	113,591	
	その他				
小計	240,110	33.4%	223,072	17,038	
その他のコスト	公債費(利子のみ)	151	0.1%	31	120
	その他	6,018	0.8%	5,399	619
	小計	6,169	0.9%	5,430	739
行政コスト合計 ①		718,846	100.0%	684,062	34,784

● 県債残高(H30.3.31現在)

55,000 千円

● 利用の状況

(利用者1人当たりの自立支援給付費等)

H27	3,086,150円
H28	3,058,145円
H29	3,196,690円

(利用者数)

H27	80人
H28	83人
H29	84人

● コスト指標

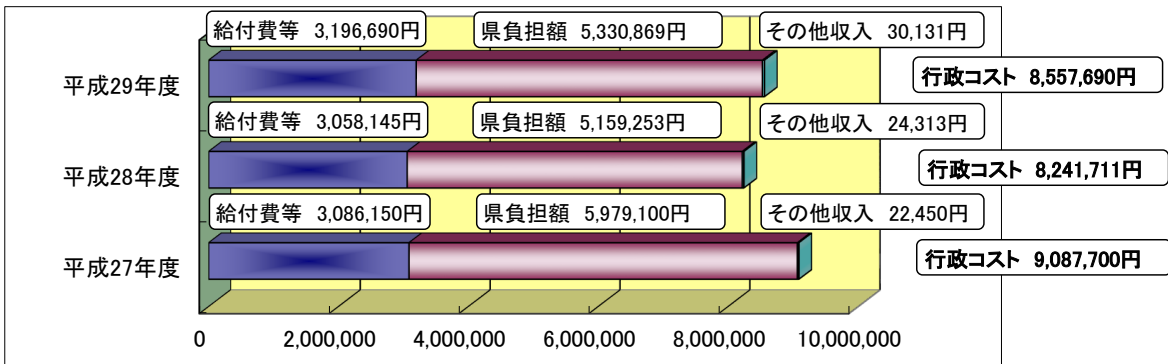
(利用者1人当たりにかかるコスト)

H27	9,087,700円
H28	8,241,711円
H29	8,557,690円

※利用者数は月初日利用者数の平均。

利用者1人当たりのコストは、1人が1年間利用した場合の経費。

## 利用者1人当たりのコスト負担の状況



● コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

全般的な事務費の削減

# 公共施設のコスト計算書

施設名	香川県ふじみ園		
所在地	丸亀市飯山町東坂元3667	供用開始年度	昭和54年度
施設の種類	障害者支援施設、福祉ホーム	施設設置根拠	知的障害者福祉法、障害者総合支援法 香川県ふじみ園条例
設置目的	障害者の福祉の増進を図る。		
施設運営方法	全部委託：指定管理者（（福）香川県社会福祉事業団）		
整備事業費		施設の概要	
		【施設】	おおぞら（旧更生施設）鉄筋コンクリート 2F 1,948.85㎡ 定員 施設入所支援 60名 生活介護 74名 だいち（旧授産施設）鉄筋コンクリート 2F 2,093.04㎡ 定員 施設入所支援 50名、生活介護 36名、生活訓練 12名、 就労移行支援 12名、就労継続支援B型 30名 福祉ホーム 鉄筋コンクリート 1F 613.26㎡ 定員20名
利用料金		【職員の状況】	プロパー職員44人 嘱託職員20人 臨時職員21人 計85人
更生施設及び授産施設	本人の所得に応じて負担		
福祉ホーム	光熱水費を実費負担		

## 行政コスト計算書

【行政コスト】 平成 29 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	363,661	62.8%	327,928	35,733
	退職給与引当金繰入等	9,878	1.7%	9,638	240
	小計	373,539	64.5%	337,566	35,973
物にかかるコスト	物件費	59,677	10.3%	54,936	4,741
	維持補修費	5,668	1.0%	60,516	△ 54,848
	減価償却費	35,556	6.1%	35,556	
	その他	3,194	0.6%	3,062	132
小計	104,095	18.0%	154,070	△ 49,975	
その他のコスト	公債費(利子のみ)	220	0.0%	278	△ 58
	その他	101,211	17.5%	92,255	8,956
	小計	101,431	17.5%	92,533	8,898
行政コスト合計 ①	579,065	100.0%	584,169	△ 5,104	

### 【収入項目】

自立支援給付費等	454,378	78.5%	457,443	△ 3,065
国庫支出金				
その他	45,159	7.8%	44,231	928
計 ②	499,537	86.3%	501,674	△ 2,137
県単独負担額 ①-②	79,528	13.7%	82,495	△ 2,967

●県債残高(H30.3.31現在)

46,762 千円

●利用の状況

(利用者1人当たりの自立支援給付費等)

H27	2,647,939円
H28	2,690,840円
H29	2,688,627円

(利用者数)

H27	174人
H28	170人
H29	169人

●コスト指標

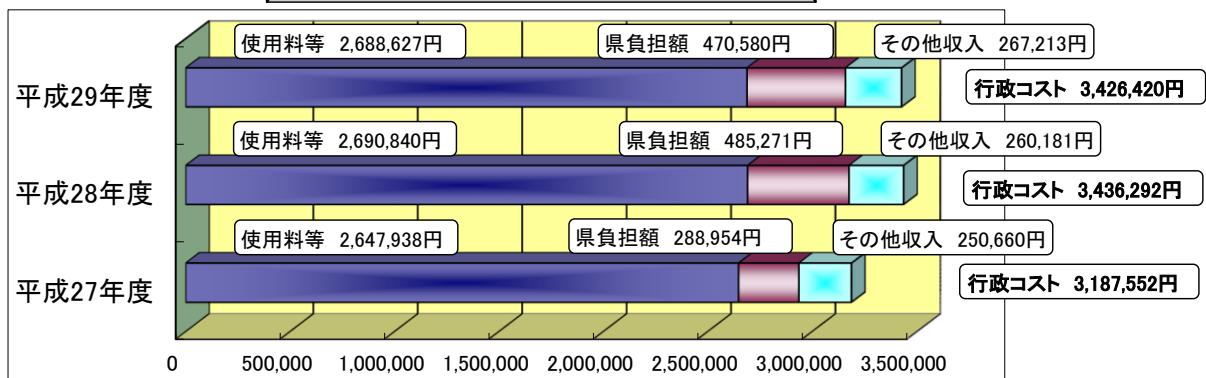
(利用者1人当たりにかかるコスト)

H27	3,187,553円
H28	3,436,292円
H29	3,426,420円

※利用者数は月初日入所者数の平均。

利用者1人当たりのコストは、1人が1年間利用した場合の経費。

## 利用者1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

日用品等物品購入の削減  
光熱水費の節減等

※1 使用料等のうち自立支援給付費等使用料部分は平成18年度から利用料金制に移行している。

公共施設のコスト計算書

施設名	かがわ総合リハビリテーションセンター		
所在地	高松市田村町1114	供用開始年度	昭和61年度
施設の種類	障害者支援施設、身体障害者福祉センター、医療型障害児入所施設、病院	施設設置根拠	身体障害者福祉法、児童福祉法、医療法、障害者総合支援法 かがわ総合リハビリテーションセンター条例
設置目的	障害のある者の福祉の増進を図る。		
施設運営方法	全部委託：指定管理者（（福）かがわ総合リハビリテーション事業団）		
整備事業費		施設の概要	
		【施設】	病院 鉄筋コンクリート造 地下1階地上3階 10,103.66㎡ 外来診療、入院114床 こども支援施設 鉄筋コンクリート造 地上2階 4,284.7㎡ 入所定員25名 こども発達支援センター 鉄筋コンクリート造（施設はこども支援施設の一部） 利用定員35名 療養介護施設 鉄筋コンクリート造（施設はこども支援施設の一部及び南病棟1階） 入所定員45名 成人支援施設 鉄筋コンクリート造 地上1階 2,567.89㎡ 施設入所支援40名 自立支援(機能訓練、生活訓練)56名、就労移行支援24名 福祉センター 鉄筋コンクリート造 地上2階 3,984.09㎡ プール、体育館、研修室外
利用料金		【職員の状況】	
病院、こども支援施設、療養介護施設 一般的な病院での医療費(医療費助成制度あり) 成人支援施設、こども支援施設、療養介護施設 所得に応じて負担 福祉センター 施設使用料(障害者減免制度有)			プロパー職員 304人 嘱託職員 60人 臨時職員 19人 計383人

行政コスト計算書

【行政コスト】		平成 29 年度	(千円)		
項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	2,040,581	69.6%	1,888,150	152,431
	退職給与引当金繰入等	39,727	1.4%	10,227	29,500
	小計	2,080,308	71.0%	1,898,377	181,931
物にかかるコスト	物件費	276,621	9.4%	243,266	33,355
	維持補修費	28,095	1.0%	230,340	△ 202,245
	減価償却費	211,452	7.2%	211,452	
	その他	82,307	2.8%	185,417	△ 103,110
小計	598,475	20.4%	870,475	△ 272,000	
その他のコスト	公債費(利子のみ)	1,114	0.1%	1,622	△ 508
	その他	249,891	8.5%	241,172	8,719
	小計	251,005	8.6%	242,794	8,211
行政コスト合計 ①	2,929,788	100.0%	3,011,646	△ 81,858	

●県債残高(H30.3.31現在)

190,824 千円

●利用の状況

(利用者数)※1

H27	460.7 人
H28	457.9 人
H29	499.7 人

(入所率) ※2

H27	87.0%
H28	84.8%
H29	90.0%

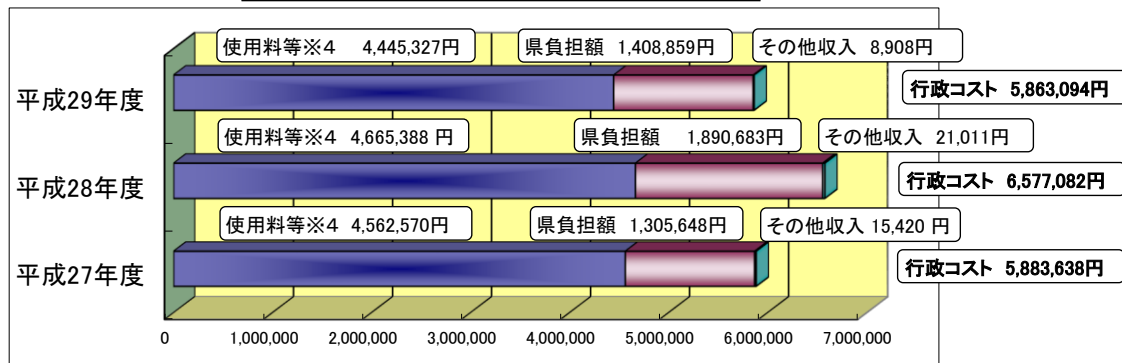
●コスト指標

(利用者1人当たりにかかるコスト)※3

H27	5,883,638円
H28	6,577,082円
H29	5,863,094円

【収入項目】				
自立支援給付費等	413,366	14.1%	374,568	38,798
診療報酬等	1,807,964	61.7%	1,761,713	46,251
その他	4,451	0.2%	9,621	△ 5,170
計 ②	2,225,781	76.0%	2,145,902	79,879
県単独自負担額 ①-②	704,007	24.0%	865,744	△ 161,737

利用者1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

物品購入、工事契約の入札化、光熱水費の節減等

※1 利用者数は、入所施設(通所を含む。)の月初日措置者数の平均と病院の入院・外来の1日平均患者数の合計。福祉センターの利用者等は算入していない。

※2 入所率は、入所施設(通所を含む。)の月初日措置者数の平均と病院の入院の1日平均患者数の合計を定員で除した率。

※3 利用者1人当たりのコストは、1人が1年間利用した場合の経費。

※4 使用料等は、自立支援給付費、措置費及び診療報酬等であり、使用料部分は平成18年度から利用料金制に移行している。



公共施設のコスト計算書

施設名	情報通信交流館		
所在地	高松市サンポート2番1号	供用開始年度	平成16年度
施設の種類	生涯学習施設、研修施設、展示施設	施設設置根拠	香川県サンポート高松交流拠点施設条例
設置目的	サンポート高松の賑わいのある街づくりと県民の情報リテラシーの向上を図る。		
施設運営方法	本施設は、平成16年度から平成25年度までの10年間、BOT方式によるPFI事業で整備、運営されたあと、平成26年度から指定管理者(かがわ県民情報サービス(株))により運営されている。		
整備事業費	1,110,640千円	施設の概要	
		【施設】	高松シンボルタワー タワー棟4階及び5階部分 専有面積 3298.81㎡
施設名	施設利用料	【職員の状況】	
小研修室	510円 ~ 5,100円	常勤職員 20名 (情報通信交流館で常時勤務している職員)	
中研修室	1,020円 ~ 10,200円	勤務時間 8時間×22日=176時間 (一か月あたり)	
大研修室	2,050円 ~ 20,500円	非常勤職員 1名 (情報通信交流館での勤務が一定時間以下の職員)	
多目的ホール	5,140円 ~ 51,400円	※名誉館長	
スタジオ	3,060円 ~ 30,600円		
スタジオサロン	1,020円 ~ 10,200円		
映像編集装置	510円 ~ 5,100円		
音声編集装置	510円 ~ 5,100円		

【バランスシート】平成30年3月31日現在 (千円)

資産		負債及び資本	
[資産の部]		[負債の部]	
1. 有形固定資産	1,236	1. 固定負債	-
2. 無形固定資産		2. 流動負債	29,551
3. 投資等	300	負債合計	29,551
4. 流動資産	159,235	[資本の部]	
資産合計	160,771	1. 資本金	50,000
		2. 利益剰余金 (当期純利益 +前期繰越損失)	81,220
		資本合計	131,220
		負債・資本合計	160,771

(注)記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示している。

●利用の状況

(年間来館者数)

H27	110,081人
H28	129,493人
H29	125,878人

(会議室利用率)

H27	35%
H28	36%
H29	35%

(注)大・小研修室、多目的ホールの利用率。

●コスト指標(利用者1人当たりのコスト)

	H29	H28	H27
1人あたりのコスト	1,634円	1,660円	1,760円
利用料	18円	17円	22円
県負担分	1,740円	1,800円	2,007円
その他収入	39円	32円	29円
かがわ県民情報サービス 負担分	▲163円	▲189円	▲298円

【コスト計算書】 (千円、%)

項目		29年度	構成比	28年度	27年度
人にかかるコスト	給与	51,361	25.0%	50,578	51,015
	法定福利費等	10,221	4.9%	10,855	9,559
	小計	61,582	29.9%	61,433	60,574
物にかかるコスト	物件費	25,024	12.2%	24,840	19,373
	維持修繕費	19,652	9.6%	21,627	24,973
	減価償却費	2,353	1.1%	1,168	1,029
	運営業務委託費	80,982	39.4%	93,296	74,647
	その他	16,141	7.8%	12,496	13,111
小計	144,152	70.1%	153,427	133,133	
その他のコスト	固定資産除却損				
	支払利息	28		46	64
	小計	28		46	64
合計	205,762	100.0%	214,906	193,771	

◇委託料について

平成26年度～30年度(5年間)に係る「情報通信交流館の管理に関する包括協定書」を締結し、指定管理業務の事業年度ごとの委託料上限額を定めている。また、当該年度については、「情報通信交流館の管理に関する年度協定書」を締結している。

【収入項目】 (千円、%)

項目	金額	割合	28年度	27年度
利用料	2,324	1.0%	2,149	2,398
委託料(県負担分)	219,000	96.8%	233,056	220,940
その他	4,869	2.2%	4,134	3,191
合計	226,193	100.0%	239,339	226,529

(注)金額は全て税抜表示。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県立文書館		
所在地	高松市林町2217番地19	供用開始年度	平成5年度
施設の種類	文書館	施設設置根拠	公文書館法、香川県立文書館条例
設置目的	香川県公文書等の管理に関する条例第2条第4項に規定する特定歴史公文書等をはじめとする、歴史資料として重要な公文書、古文書その他の記録を収集・整理・保存し、広く県民の利用に供するとともに、これに関連する調査研究を行い、本県における学術の振興及び文化の向上並びに県政に対する理解の増進及び信頼の向上に資する。		
施設運営方法	直接運営		
整備事業費	2,908,304千円	施設の概要	
県債	2,536,000千円	【施設】	鉄骨鉄筋コンクリート造り地下1階・地上3階
一般財源	372,304千円		閲覧室 340㎡
			視聴覚ホール 299㎡ 収容人員 225人
			会議室 62㎡ 収容人員 20人
			書庫 1,833㎡
利用料金	観覧料	【職員の状況】	職員9名 嘱託職員6名 計15名
文書館入場料	無料		
視聴覚ホール 貸館	時間当たり 3,600円		
会議室 貸館	時間当たり 1,130円		

行政コスト計算書

【行政コスト】 平成 29 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト				
人件費	89,695	48.2%	86,021	3,674
退職給与引当金繰入等	15,734	8.5%	18,129	△ 2,395
小計	105,429	56.7%	104,150	1,279
物にかかるコスト				
物件費	27,190	14.6%	28,600	△ 1,410
維持補修費	1,877	1.0%	2,678	△ 801
減価償却費	51,601	27.7%	51,292	309
その他				
小計	80,668	43.3%	82,570	△ 1,902
その他のコスト				
公債費(利子のみ)				
その他				
小計				
行政コスト合計 ①	186,097	100.0%	186,720	△ 623

●県債残高(H30.3.31現在)

9,000 千円

●利用の状況

(年間利用者数)

H27	38,834人
H28	44,692人
H29	52,452人

●コスト指標

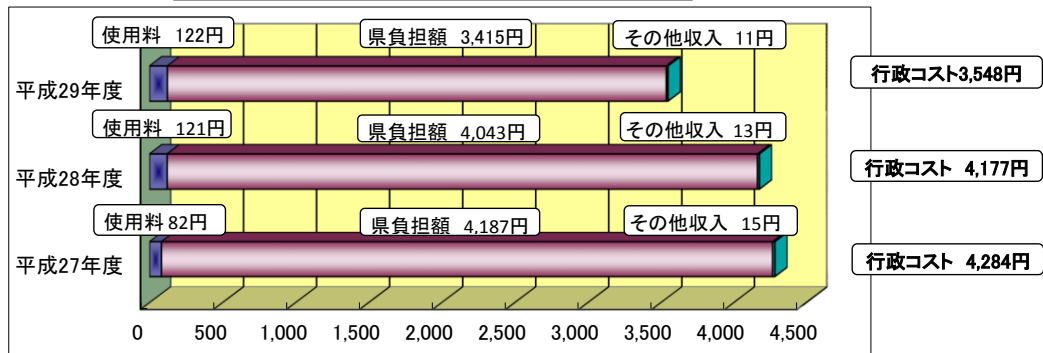
(入館者1人当たりのコスト)

H27	4,284円
H28	4,177円
H29	3,548円

【収入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
使用料・手数料	6,427	3.5%	5,432	995
国庫支出金				
その他	562	0.3%	580	△ 18
計 ②	6,989	3.8%	6,012	977
県単独自負担額 ①-②	179,108	96.2%	180,708	△ 1,600

入館者1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

管理運営費については、委託料等管理経費の削減に努めた。HPでのPRや設備の充実などにより視聴覚ホールの利用者が増加し、入館者一人当たりのコスト負担は減少した。  
今後とも、管理運営費の節減に努めながら、県民の身近な題材をテーマとした企画展示の開催や、ホームページの充実、マスメディアの活用など、幅広く広報を行い、利用者数の増加を図ることとしている。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川国際交流会館		
所在地	高松市番町一丁目11-63	供用開始年度	平成7年度
施設の種類	国際交流施設	施設設置根拠	香川国際交流会館条例
設置目的	本県における国際交流の促進及び文化の向上を図る。		
施設運営方法	全部委託: 指定管理者(公益財団法人香川県国際交流協会)		
整備事業費	864,645千円	施設の概要	
県債	696,000千円	【施設】	鉄筋コンクリート造 地下1階・地上3階建 建築面積 787.50㎡ 延床面積 2,474.17㎡
一般財源	168,645千円	【職員の状況】	嘱託職員 5名
		※ 施設は旧県立図書館 整備事業費は、平成5・6年度の整備費	
利用料金	使用料		
大会議室	5,370円~17,900円		
会議室	1,330円~4,460円		
小会議室	610円~2,040円		
和室	610円~2,040円		

行政コスト計算書					
【行政コスト】		平成	29年度	(千円)	
	項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト	人件費	17,074	28.1%	17,409	△ 335
	退職給与引当金繰入等				
	小計	17,074	28.1%	17,409	△ 335
物にかかるコスト	物件費	12,512	20.6%	18,324	△ 5,812
	維持補修費	8,777	14.4%	8,784	△ 7
	減価償却費	22,123	36.4%	22,319	△ 196
	その他				
	小計	43,412	71.4%	49,427	△ 6,015
その他のコスト	公債費(利子のみ)	293	0.5%	340	△ 47
	その他				
	小計	293	0.5%	340	△ 47
行政コスト合計 ①		60,779	100.0%	67,176	△ 6,397

【収入項目】					
	項目	当該年度	構成比	前年度	増減
	使用料・手数料	5,740	9.4%	5,906	△ 166
	国庫支出金				
	その他				
	計 ②	5,740	9.4%	5,906	△ 166
	県単独負担額 ①-②	55,039	90.6%	61,270	△ 6,231

● 県債残高(H30.3.31現在) 61,230千円

● 利用の状況 (年間利用者数)

H27	74,825人
H28	79,096人
H29	81,208人

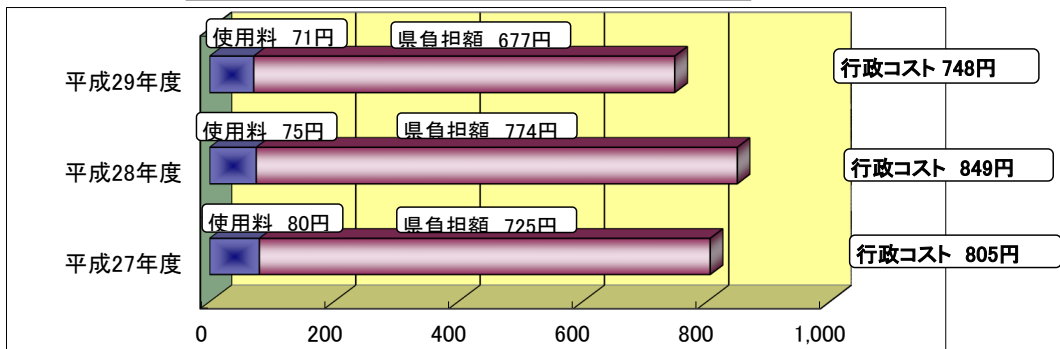
(会議室利用率)

H27	43.4%
H28	39.0%
H29	39.5%

● コスト指標 (利用者1人当たりのコスト)

H27	805円
H28	849円
H29	748円

利用者1人当たりのコスト負担の状況



● コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

- ・競争性の確保や契約内容の見直し等により、経費節減に努めている。
- ・ホームページに会議室の空き情報や、写真、配置図等を掲示するなど、利用者の利便性向上に努めている。
- ・国際交流団体等に対して広く利用を呼びかけるなど、会館の利用促進を図っている。

公共施設のコスト計算書

施設名	サンポート高松交流拠点施設		
所在地	香川県高松市サンポート2-1	供用開始年度	平成16年度
施設の種類	国際会議場、展示場、観光情報センター、駐車場など	施設設置根拠	香川県サンポート高松交流拠点施設条例
設置目的	サンポート高松において、人、物、情報等の総合的な交流拠点を創造することにより、本県のにぎわいを創出するため。		
施設運営方法	全部委託：指定管理者（シンボルタワー開発株式会社）		
整備事業費	12,074,010千円	施設の概要	
国費	203,400千円	【施設】 かがわ国際会議場、観光情報センター、展示場、多目的広場、大型テント広場、アート広場、高松シンボルタワー地下駐車場、高松シンボルタワー内共用部など	
分担金・負担金	205,400千円		
県債	10,864,000千円		
その他	801,210千円		
施設名	利用料金	【職員の状況】 シンボルタワー開発株式会社（指定管理者）の職員10人でサンポート高松の施設を管理運営 このうち6.2人分をサンポート高松交流拠点施設関係で負担	
国際会議場9:00～17:00	77,700円		
展示場9:00～17:00	69,100円		
多目的広場9:00～17:00	42,600円		
大型テント広場9:00～17:00	69,500円		
高松シンボルタワー地下駐車場 20分	100円		

行政コスト計算書					
【行政コスト】		平成 29 年度	(千円)		
				2,395,478 千円	
項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	32,005	5.8%	30,657	1,348
	退職給与引当金繰入等				
	小計	32,005	5.8%	30,657	1,348
物にかかるコスト	物件費	91,124	16.5%	76,631	14,493
	維持補修費	103,862	18.8%	103,765	97
	減価償却費	183,044	33.1%	183,044	
	その他	95,503	17.2%	98,775	△ 3,272
	小計	473,533	85.6%	462,215	11,318
その他のコスト	公債費(利子のみ)	11,555	2.1%	12,568	△ 1,013
	その他	36,060	6.5%	38,590	△ 2,530
	小計	47,615	8.6%	51,158	△ 3,543
行政コスト合計 ①		553,153	100.0%	544,030	9,123

●県債残高(H30.3.31現在)

2,395,478 千円

◇「コスト」には国際会議場、展示場、観光情報センター、産業情報センター、屋外広場、シンボルタワー地下駐車場の

- ・人件費
- ・光熱水費
- ・清掃業務、設備日常管理、設備定期点検、保安警備業務
- ・減価償却費
- ・高松シンボルタワー内共用部県負担金
- ・公債費（利子のみ）

などが含まれます。

【収入項目】				
使用料・手数料	85,585	15.5%	87,978	△ 2,393
国庫支出金				
その他	33,533	6.0%	33,533	
計 ②	119,118	21.5%	121,511	△ 2,393
県単独自負担額 ①-②	434,035	78.5%	422,519	11,516

施設ごとの内訳

施設ごとの内訳	国際会議場	展示場	観光情報センター	産業振興センター	屋外広場	シンボルタワー地下駐車場
---------	-------	-----	----------	----------	------	--------------

【収入項目(千円)】

使用料・手数料	19,176	13,782	2,654	24,097	2,245	23,631
国庫支出金						
その他						
計	19,176	13,782	2,654	24,097	2,245	23,631

【利用の状況】

指標	稼働率	稼働率	利用者数	入居率	稼働率	利用台数
	53.4%	48.2%	49,596	100.0%	21.7%	32,232

●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

18年度から指定管理者を公募したことによるコスト縮減が図られている。  
施設利用受付を1階に移動し、受付窓口を1か所にまとめるなど、利用者の利便性向上に努めている。

# 公共施設のコスト計算書

施設名	香川県立図書館		
所在地	高松市林町2217-19	供用開始年度	平成5年度
施設の種類	社会教育施設	施設設置根拠	香川県立図書館条例
設置目的	本県における中核図書館として、図書・記録・その他必要な資料を収集・整理・保存して、広く県民の利用に供し、その教養・調査研究・レクリエーション等に資する。		
施設運営方法	直接運営		
整備事業費	5,795,507千円	施設の概要	
県債	4,767,000千円	【施設】 鉄骨鉄筋コンクリート造り地下1階地上4階 1階 閲覧室 2階 会議室、研修室、視聴覚ホール(全て文書館と共用) 3階 書庫 4階 書庫 敷地面積 19,396.18㎡(文書館と共用) 延床面積 9,562.31㎡	
一般財源	1,028,507千円		
利用料金		【職員の状況】 平成30年3月31日現在 正規職員16名 嘱託職員6名 計22名	
資料複写料金(白黒1枚)	10円		
資料複写料金(カラー1枚)	20円		
マイクロリーダー(1枚)	10円		

## 行政コスト計算書

【行政コスト】 平成 29 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	134,591	36.3%	143,058	△ 8,467
	退職給与引当金繰入等	1,624	0.4%		1,624
	小計	136,215	36.7%	143,058	△ 6,843
物にかかるコスト	物件費	123,853	33.4%	145,876	△ 22,023
	維持補修費	28,559	7.7%	32,023	△ 3,464
	減価償却費	82,308	22.2%	81,689	619
	その他				
小計	234,720	63.3%	259,588	△ 24,868	
その他のコスト	公債費(利子のみ)				
	その他				
小計					
行政コスト合計 ①	370,935	100.0%	402,646	△ 31,711	

● 県債残高(H30.3.31現在)

17,000 千円

● 利用の状況

(年間入館者数)

H27	426,617 人
H28	476,543 人
H29	448,778 人

● コスト指標

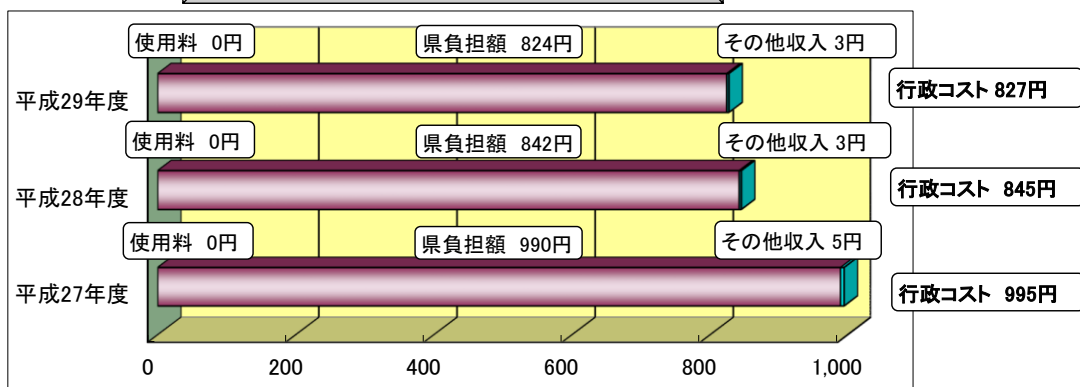
(入館者1人当たりのコスト)

H27	995 円
H28	845 円
H29	827 円

【収入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
使用料・手数料	52	0.1%	52	
国庫支出金				
その他	1,154	0.2%	1,225	△ 71
計 ②	1,206	0.3%	1,277	△ 71
県単独自負担額 ①-②	369,729	99.7%	401,369	△ 31,640

## 入館者1人当たりのコスト負担の状況



● コスト削減、利用向上に向けた取組み状況

コスト削減への取組みとして、引き続きカウンター業務等を委託した。  
 利用向上に向けた取組みとしては、各種行事や展示を行うほかインターネット等を活用した蔵書の予約や県内公立図書館の蔵書検索が可能な図書館情報システムの利用の浸透を図るなど、利用者サービスの向上に努めた。  
 なお、平成29年度はシステム更新のため入館者数が減少したが、資料購入費の減額等により一人当たりのコスト減の一因となった。

# 公共施設のコスト計算書

施設名	香川県立ミュージアム		
所在地	高松市（玉藻町5-5、亀水町1412-2、番町1-10-39）	供用開始年度	平成11年度
施設の種類	美術館・博物館	調査研究施設	施設設置根拠 香川県立ミュージアム条例
設置目的	歴史、芸術及び民俗に関する県民の理解を深めるとともに、教育、学術及び文化の発展に寄与する。		
施設運営方法	直接運営		
整備事業費	24,397,271千円	施設の概要	
国庫支出金	15,000千円	【施設】（本館）【ミュ】 鉄骨鉄筋コンクリート造 地上7階、地下2階、塔屋1階	
県債	17,300,620千円	延床面積 19,656.99㎡ 敷地面積 5,016.77㎡	
一般財源	5,904,291千円	（分館）瀬戸内海歴史民俗資料館【歴民】 鉄筋コンクリート造 一部2階建	
その他	1,177,360千円	延床面積 4,441.11㎡ 敷地面積 45,094.00㎡	
利用料金	観覧料	（分館）香川県文化会館【文化】 鉄筋コンクリート造 地下1階 地上7階	
一般	410円	延床面積 4,628.02㎡ 敷地面積 1,153.98㎡	
団体	330円	【職員の状況】 正規職員 30人（【ミュ】23人【歴民】5人【文化】2人）	
講堂	23,510円/日	嘱託職員 2人（【ミュ】2人）	
研修室	9,490円/日	臨時職員 1人（【歴民】1人）	
		計 33人（【ミュ】25人【歴民】6人【文化】2人）	（瀬戸内海歴史民俗資料館はコスト計算の対象外である。）

## 行政コスト計算書

【行政コスト】 平成 29 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト				
人件費	196,251	26.0%	190,476	5,775
退職給与引当金繰入等	34,705	4.6%		34,705
小計	230,956	30.6%	190,476	40,480
物にかかるコスト				
物件費	227,140	30.1%	282,535	△ 55,395
維持補修費	13,150	1.7%	19,169	△ 6,019
減価償却費	251,188	33.2%	251,188	
その他				
小計	491,478	65.0%	552,892	△ 61,414
その他のコスト				
公債費(利子のみ)	33,219	4.4%	48,883	△ 15,664
その他				
小計	33,219	4.4%	48,883	△ 15,664
行政コスト合計 ①	755,653	100.0%	792,251	△ 36,598

●県債残高(H30.3.31現在)

6,179,014 千円

●利用の状況(文化会館を含めた利用者数)

H27	194,624人
H28	167,627人
H29	124,564人

●コスト指標

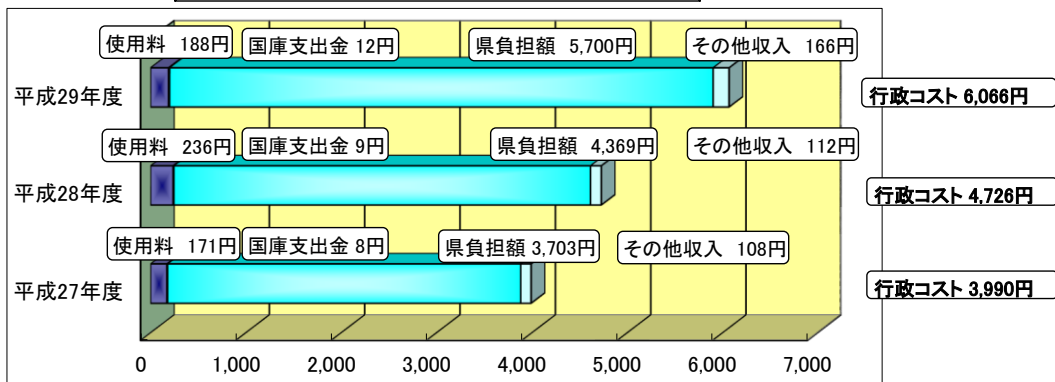
(利用者1人当たりにかかるコスト)

H27	3,990円
H28	4,726円
H29	6,066円

【収入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
使用料・手数料	23,430	3.1%	39,637	△ 16,207
国庫支出金	1,496	0.2%	1,496	
その他	20,663	2.7%	18,789	1,874
計 ②	45,589	6.0%	59,922	△ 14,333
県単独負担額 ①-②	710,064	94.0%	732,329	△ 22,265

## 利用者1人当たりのコスト負担の状況



## ●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

- ・管理運営費の節減に努め、光熱水費、修繕費については前年度より削減できたため、行政コスト総額は昨年度より減となったが、利用者数が減少したため行政コストとしては増加した。
- ・大規模特別展の実施等により、入館者数の増加に努めたほか、貸館施設の周知を行うことで、利用率の向上を図った。
- ・平成29年度は、文化会館の電気・空調・消防設備改修を行ったため、下半期は休館となり、利用者数・貸館収入減となり、行政コスト増加の一因となった。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県県民ホール		
所在地	高松市玉藻町9-10	供用開始年度	昭和63年度
施設の種類	文化ホール	施設設置根拠	香川県県民ホール条例
設置目的	県民の文化の振興を図るため。		
施設運営方法	委託：指定管理者（穴吹エンタープライズ株式会社）		
整備事業費	19,020,237千円	施設の概要	
		【施設】	大ホール棟      小ホール棟
		構造	鉄筋コンクリート      鉄筋コンクリート 地上6階、地下1階      地上6階、地下1階
		建築面積	5,274㎡      3,635㎡
		収容人員	大ホール 2001席      小ホール 807席
利用料金	使用料	【職員の状況】	
大ホール(4時間)	38,160円～228,960円	指定管理者	21人
小ホール(4時間)	18,870円～113,190円	財団	8人
多目的ホール(4時間)	23,580円～63,660円		
			計 29人

行政コスト計算書

【行政コスト】		平成 29 年度	(千円)		
項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	91,124	10.9%	109,551	△ 18,427
	退職給与引当金繰入等				
	小計	91,124	10.9%	109,551	△ 18,427
物にかかるコスト	物件費	283,038	34.0%	295,829	△ 12,791
	維持補修費	6,859	0.8%	10,459	△ 3,600
	減価償却費	372,176	44.6%	314,987	57,189
	その他	58,829	7.1%	18,264	40,565
	小計	720,902	86.5%	639,539	81,363
その他のコスト	公債費(利子のみ)	21,928	2.6%	50,835	△ 28,907
	その他				
	小計	21,928	2.6%	50,835	△ 28,907
行政コスト合計 ①	833,954	100.0%	799,925	34,029	

●県債残高(H30.3.31現在)

4,924,445 千円

●利用の状況

(年間利用者数)

H27	437,032人
H28	401,834人
H29	372,444人

(大ホール・小ホールの利用率)

H27	大60.9%、小67.1%
H28	大68.9%、小74.3%
H29	大70.5%、小74.1%

●コスト指標

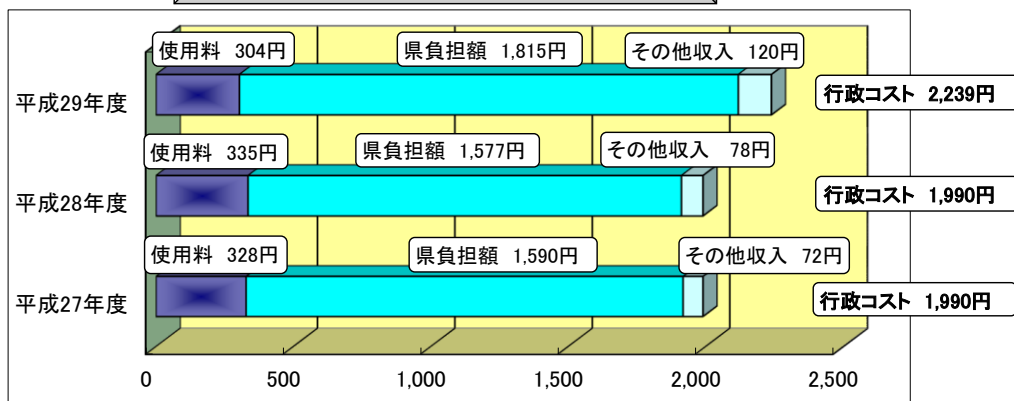
(利用者1人当たりにかかるコスト)

H27	1,990円
H28	1,990円
H29	2,239円

【収入項目】

使用料・手数料	113,184	13.5%	134,772	△ 21,588
国庫支出金				
その他	44,804	5.4%	31,263	13,541
計 ②	157,988	18.9%	166,035	△ 8,047
県単独負担額 ①-②	675,966	81.1%	633,890	42,076

利用者1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

指定管理者制度を継続し、コスト低減と利用者増に努めた。  
今後も県民サービスの向上と経費の削減に努める。

# 公共施設のコスト計算書

施設名	東山魁夷せとうち美術館		
所在地	坂出市沙弥島字南通224-13	供用開始年度	平成17年度
施設の種類	文化施設	施設設置根拠	香川県立東山魁夷せとうち美術館条例
設置目的	東山魁夷の作品等の展示、保管等を行なうことにより、本県における文化芸術の振興に寄与する。		
施設運営方法	直接運営		
整備事業費	939,420 千円	施設の概要	
県債	663,843 千円	【施設】 鉄筋コンクリート造・鉄骨造 地上2階 建築面積717.41㎡、延床面積853.15㎡、展示室面積277㎡	
一般財源	275,577 千円		
その他	千円		
利用料金	観覧料	【職員の状況】	
テーマ作品展 一般・大学生	300円(240円)	正規職員	3人
特別展	展覧会による	嘱託職員	1人
	※( )内は団体料金	計	4人

## 行政コスト計算書

【行政コスト】 平成 29 年度 (千円)

項目		当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト	人件費	30,697	33.4%	29,799	898
	退職給与引当金繰入等			11,316	△ 11,316
	小計	30,697	33.4%	41,115	△ 10,418
物にかかるコスト	物件費	42,767	46.5%	44,772	△ 2,005
	維持補修費	1,571	1.7%	308	1,263
	減価償却費	14,729	16.0%	14,729	
	その他				
小計	59,067	64.2%	59,809	△ 742	
その他のコスト	公債費(利子のみ)	2,187	2.4%	2,318	△ 131
	その他				
	小計	2,187	2.4%	2,318	△ 131
行政コスト合計 ①		91,951	100.0%	103,242	△ 11,291

● 県債残高(H30.3.31現在) 414,360 千円

### ● 利用の状況

(年間利用者数)

H27	53,232 人
H28	51,881 人
H29	43,321 人

### ● コスト指標

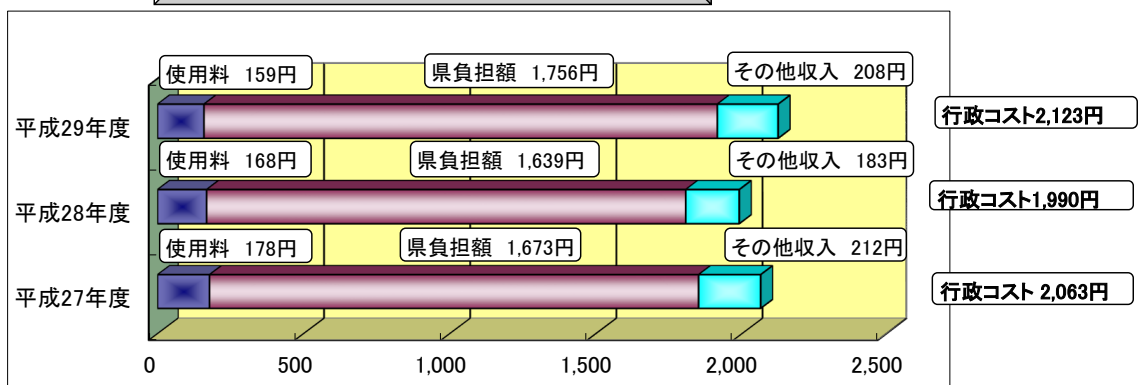
(利用者1人当たりにかかるコスト)

H27	2,063 円
H28	1,990 円
H29	2,123 円

### 【歳入項目】

項目	金額	割合	前年度	増減
使用料・手数料	6,901	7.5%	8,689	△ 1,788
国庫支出金				
その他	8,994	9.8%	9,494	△ 500
計 ②	15,895	17.3%	18,183	△ 2,288
県単独負担額 ①-②	76,056	82.7%	85,059	△ 9,003

## 利用者1人当たりのコスト負担の状況



### ● コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

魅力ある特別展の開催とテーマ作品展の展示内容の工夫を図るとともに、効果的PRに努める。



# 公共施設のコスト計算書

施設名	香川県立武道館		
所在地	高松市福岡町一丁目5-5	供用開始年度	昭和41年度
施設の種類	武道館	施設設置根拠	香川県スポーツ施設条例
設置目的	スポーツに関する競技会、講習会等の利用に供することを目的とする。		
施設運営方法	全部委託：指定管理者（四電工・シンコースポーツグループ）		
整備事業費	51,388千円	施設の概要	
		【施設】	鉄筋コンクリート造 2階建 延床面積1,863.67㎡ 柔道場378.125㎡ 剣道場378.125㎡ 弓道場237.27㎡
		【職員の状況】	指定管理者 正社員3人 契約社員5人 臨時社員3人 計11人
利用料金	利用料		
専用半面使用9:00~17:00	4,190円		
専用半面使用9:00~13:00	2,250円		
専用半面使用(1時間)9:00~17:00	880円		
個人練習 一般	80円		
個人練習 生徒	60円		

行政コスト計算書					
【行政コスト】 平成 29 年度 (千円)					
項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	41,792	76.0%	40,362	1,430
	退職給与引当金繰入等				
	小計	41,792	76.0%	40,362	1,430
物にかかるコスト	物件費	8,013	14.6%	8,508	△ 495
	維持補修費	2,564	4.7%	3,417	△ 853
	減価償却費	2,273	4.1%	2,161	112
	その他				
	小計	12,850	23.4%	14,086	△ 1,236
その他のコスト	公債費(利子のみ)	343	0.6%	359	△ 16
	その他				
	小計	343	0.6%	359	△ 16
行政コスト合計 ①	54,985	100.0%	54,807	178	
【収入項目】					
使用料・手数料	2,696	4.9%	2,653	43	
国庫支出金					
その他	6,322	11.5%	5,855	467	
計 ②	9,018	16.4%	8,508	510	
県単独負担額 ①-②	45,967	83.6%	46,299	△ 332	

● 県債残高(H30.3.31現在) 37,760 千円

● 利用の状況 (年間利用者数)

H27	56,456人
H28	62,822人
H29	63,301人

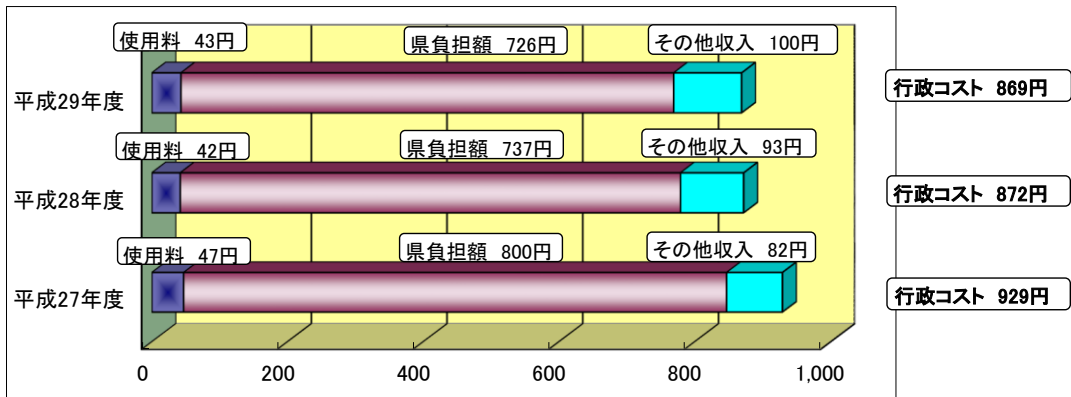
(稼働率(柔道場) 利用日数/開場日数)

H27	99.4%
H28	98.9%
H29	99.7%

● コスト指標 (入館者1人当たりのコスト)

H27	929円
H28	872円
H29	869円

## 利用者1人当たりのコスト負担の状況



### ● コスト削減、利用向上に向けた取組み状況

平成18年度から指定管理者制度を導入し、経費節減及び利用者サービスの向上に努めている。平成29年度は、武道教室だけでなく、研修室を利用して、書道教室やベビードダンス教室などを実施し、高齢者や子育て中の女性など新たな利用者の獲得に引き続き努めた。

# 公共施設のコスト計算書

施設名	香川県立総合水泳プール		
所在地	高松市御厩町1585-1	供用開始年度	平成2年度
施設の種類	プール	施設設置根拠	香川県スポーツ施設条例
設置目的	スポーツに関する競技会、講習会等の利用に供することを目的とする。		
施設運営方法	全部委託：指定管理者(四電ビジネス・シンコースポーツグループ)		
整備事業費	1,248,590千円	施設の概要	
		【施設】	管理棟 RC造 3階建 2,966㎡
			屋内プール棟 RC造 2階建 2,029㎡
			トレーニング室棟 RC造 平屋建 422㎡
			飛込みプール棟 RC造 平屋建 522㎡
利用料金	使用料金	【職員の状況】 指定管理者	
一般プール(夏)	370円	正規社員9人	契約社員3人 臨時社員15人 財団職員2人 計29人
一般プール(冬)	530円		
トレーニング一般(通年)	210円		

## 行政コスト計算書

【行政コスト】 平成 29 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	101,273	50.2%	92,160	9,113
	退職給与引当金繰入等				
	小計	101,273	50.2%	92,160	9,113
物にかかるコスト	物件費	48,398	24.0%	41,714	6,684
	維持補修費	6,864	3.4%	7,028	△ 164
	減価償却費	45,042	22.4%	44,787	255
	その他				
小計	100,304	49.8%	93,529	6,775	
その他のコスト	公債費(利子のみ)				
	その他				
小計					
行政コスト合計 ①	201,577	100.0%	185,689	15,888	

● 県債残高(H30.3.31現在)

— 千円

● 利用の状況

(年間利用者数)

H27	133,871人
H28	144,816人
H29	150,639人

(プールの利用率 利用日数/開場日数)

H27	100.0%
H28	100.0%
H29	100.0%

● コスト指標

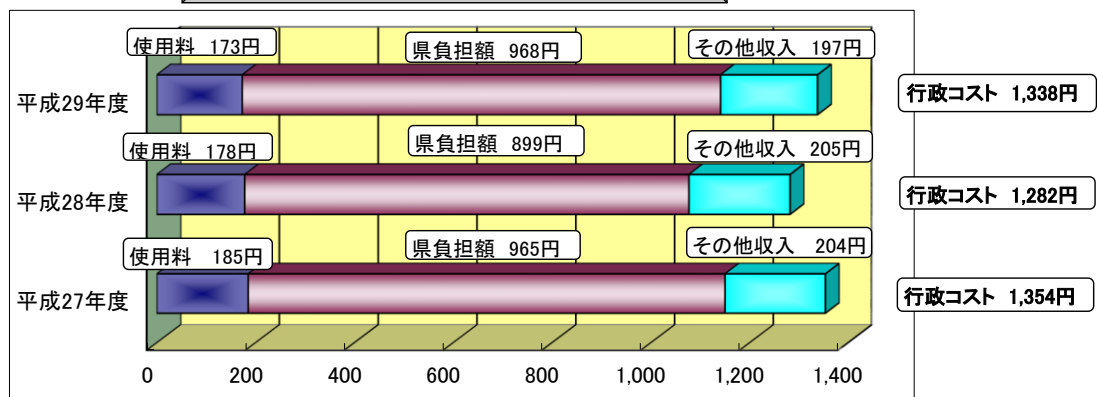
(利用者1人当たりにかかるコスト)

H27	1,354円
H28	1,282円
H29	1,338円

【収入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
使用料・手数料	26,100	13.0%	25,825	275
国庫支出金				
その他	29,641	14.7%	29,651	△ 10
計 ②	55,741	27.7%	55,476	265
県単独自負担額 ①-②	145,836	72.3%	130,213	15,623

## 利用者1人当たりのコスト負担の状況



● コスト縮減、利用向上に向けた取り組み状況

平成20年度から指定管理者制度を導入し、経費節減及びサービス向上に努めている。  
平成29年度は、引続き営業時間を1時間延長して午後9時までとし、利用者のニーズに応じた柔軟な施設の運営を実施することで利用促進に努めた。また、HPでのイベント開催の周知・報告の公開による積極的な広報活動や、要望のあった自主事業を実施することで利用者サービスの向上に努めた。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県総合運動公園		
所在地	高松市生島町614番地	供用開始年度	昭和57年度
施設の種類	運動公園	施設設置根拠	香川県都市公園条例
設置目的	スポーツに関する競技会、講習会等の利用に供することを目的とする。		
施設運営方法	全部委託：指定管理者(いくしまスポーツチャレンジ共同体)		
整備事業費	6,578,642千円	施設の概要	
		【施設】	県営野球場 県営第二野球場 県営テニスコート 県営サッカー・ラグビー場 県営第二サッカー・ラグビー場 県営相撲場 多目的広場 芝生広場 駐車場
利用料金	使用料	【職員の状況】	
県営野球場(1日)	15,300円	指定管理者	
県営第二野球場(1日)	12,210円	正規社員4人 契約社員3人 臨時社員11人 財団職員5人 計23人	
県営テニスコート(1時間)	520円		
県営サッカー・ラグビー場(1日)	10,550円		
県営相撲場(1日)	3,080円		

行政コスト計算書					
【行政コスト】 平成 29 年度 (千円)					
項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	61,690	31.6%	69,739	△ 8,049
	退職給与引当金繰入等				
	小計	61,690	31.6%	69,739	△ 8,049
物にかかるコスト	物件費	73,073	37.4%	74,861	△ 1,788
	維持補修費	13,159	6.7%	17,866	△ 4,707
	減価償却費	46,808	24.0%	46,757	51
	その他				
	小計	133,040	68.1%	139,484	△ 6,444
その他のコスト	公債費(利子のみ)	506	0.3%	521	△ 15
	その他				
	小計	506	0.3%	521	△ 15
行政コスト合計 ①		195,236	100.0%	209,744	△ 14,508

● 県債残高(H30.3.31現在) 217,581 千円

● 利用の状況 (年間利用者数)

H27	277,256人
H28	293,627人
H29	297,366人

(県営野球場の稼働率 利用日数/開場日数)

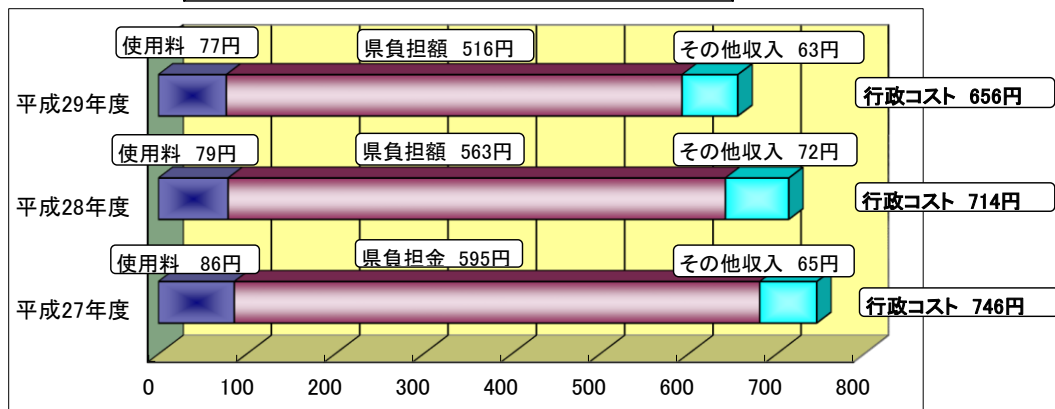
H27	79.3%
H28	73.5%
H29	70.8%

● コスト指標 (利用者1人当たりにかかるコスト)

H27	746円
H28	714円
H29	656円

【収入項目】				
使用料・手数料	22,936	11.7%	23,256	△ 320
国庫支出金				
その他	18,733	9.6%	21,249	△ 2,516
計 ②	41,669	21.3%	44,505	△ 2,836
県単独自負担額 ①-②	153,567	78.7%	165,239	△ 11,672

利用者1人当たりのコスト負担の状況



● コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

平成20年度から指定管理者制度を導入し、経費節減及びサービス向上に努めている。昨年に引き続き、施設利用のキャンセルや空きが発生している場合、各種団体に積極的に案内し、利用促進を図った。また、利用者の要望に応じて、施設の早期開場を実施した。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県立丸亀競技場		
所在地	丸亀市金倉町830	供用開始年度	平成9年度
施設の種類	競技場 第1種公認陸上競技場	施設設置根拠	香川県都市公園条例
設置目的	スポーツに関する競技会、講習会等の利用に供することを目的とする。		
施設運営方法	全部委託：指定管理者（四電エグループ）		
整備事業費	18,535,918千円	施設の概要	
		【施設】	敷地面積 10.2ha 建築面積 17,923㎡ 延床面積 32,763㎡ トラック・フィールド 約2ha(全天候競技場) トラック 400mトラック9レーン(天然芝 106m×69.5m)
		【職員の状況】	指定管理者 正規社員11人 契約社員10人 臨時社員11人 計32人
利用料金	施設使用料		
専用使用(9:00~17:00)	41,140円		
共用使用(生徒)	150円		
共用使用(一般)	300円		

行政コスト計算書

【行政コスト】 平成 29 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	84,906	16.2%	80,707	4,199
	退職給与引当金繰入等				
	小計	84,906	16.2%	80,707	4,199
物にかかるコスト	物件費	86,528	16.5%	94,001	△ 7,473
	維持補修費	16,642	3.2%	43,058	△ 26,416
	減価償却費	317,246	60.5%	312,589	4,657
	その他	27	0.0%	16	11
	小計	420,443	80.2%	449,664	△ 29,221
その他のコスト	公債費(利子のみ)	18,997	3.6%	42,510	△ 23,513
	その他				
	小計	18,997	3.6%	42,510	△ 23,513
行政コスト合計 ①	524,346	100.0%	572,881	△ 48,535	

●県債残高(H30.3.31現在)

5,167,479 千円

●利用の状況

(年間利用者数)

H27	428,820人
H28	379,353人
H29	386,463人

(主競技場の稼働率 利用日数/開場日数)

H27	100.0%
H28	85.2%
H29	98.6%

●コスト指標

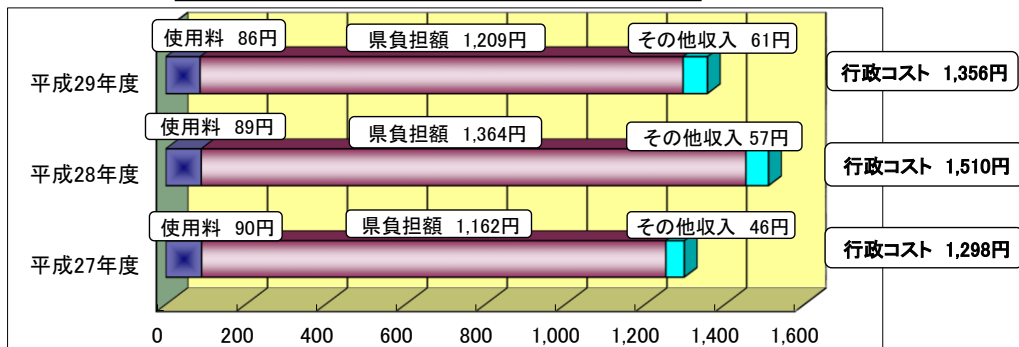
(利用者1人当たりにかかるコスト)

H27	1,298円
H28	1,510円
H29	1,356円

【収入項目】

項目	金額	構成比	前年度	増減
使用料・手数料	33,345	6.4%	33,745	△ 400
国庫支出金				
その他	23,642	4.5%	21,804	1,838
計 ②	56,987	10.9%	55,549	1,438
県単独負担額 ①-②	467,359	89.1%	517,332	△ 49,973

利用者1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

平成19年度から指定管理者制度を導入し、経費節減及びサービス向上に努めている。ホームページを開設しスポーツ教室の募集など様々な情報発信に活用することで、利用者の利便性の向上に努めた。また、引き続き、冬季・春季の利用率向上のために関西方面から大学・高校の合宿誘致を実施した。

# 公共施設のコスト計算書

施設名	瀬戸大橋記念公園		
所在地	香川県坂出市番の州緑町、沙弥島	供用開始年度	昭和63年度
施設の種類	都市公園	施設設置根拠	香川県都市公園条例
設置目的	瀬戸大橋の意義や歴史を長く後世に残し伝えるため。		
施設運営方法	全部委託：指定管理者（（公財）瀬戸大橋記念公園管理協会）		
整備事業費	5,878,003千円	施設の概要	【施設】 総面積 22.5 ha 瀬戸大橋記念館、マリンドーム、水の回廊、浜栗林、遍路ギャラリー、芝生広場、球技場、ターゲット・パードゴルフ場
県債	3,650,600千円	【職員の状況】 職員 5名 準職員 4名 計 9名	
一般財源	1,091,585千円		
その他	1,135,818千円		
利用料金			
記念館入館料	無料		
ブリッジシアター観覧料	無料		
球技場(学校等)	490円/時間		
ターゲット・パードゴルフ場	150円/人・時間		

## 行政コスト計算書

【行政コスト】 平成 29 年度 (千円)

項目		当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト	人件費	26,957	8.5%	26,934	23
	小計	26,957	8.5%	26,934	23
物にかかるコスト	物件費	34,013	10.8%	34,321	△ 308
	維持補修費	134,059	42.4%	120,643	13,416
	減価償却費	94,658	29.9%	94,658	
	その他	3,521	1.1%	3,510	11
小計	266,251	84.2%	253,132	13,119	
その他のコスト	公債費(利子のみ)	2,351	0.7%	7,024	△ 4,673
	その他	20,628	6.6%	21,054	△ 426
	小計	22,979	7.3%	28,078	△ 5,099
行政コスト合計 ①		316,187	100.0%	308,144	8,043

● 県債残高(H30.3.31現在)

304,220 千円

● 利用の状況

(公園利用者数)

H27	436,200 人
H28	429,000 人
H29	379,700 人

(マリンドーム利用日数)

H27	8
H28	11
H29	21

● コスト指標

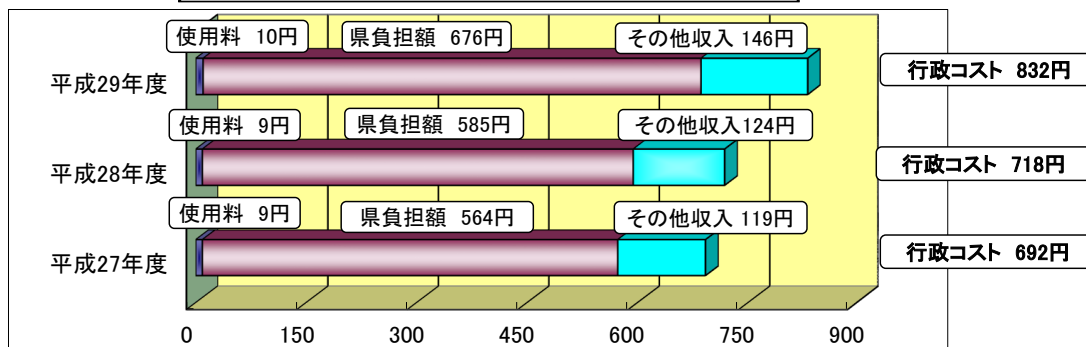
(公園利用者1人当たりにかかるコスト)

H27	692 円
H28	718 円
H29	832 円

【収入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
使用料・手数料	3,824	1.2%	3,660	164
国庫支出金				
その他	55,151	17.5%	53,389	1,762
計 ②	58,975	18.7%	57,049	1,926
県単独負担額 ①-②	257,212	81.3%	251,095	6,117

## 利用者1人当たりのコスト負担の状況



● コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

- ・公園維持管理業務内容の見直し(剪定樹木の選別、施工回数の見直し等)
- ・活性化対策の実施(広報・案内の充実、公園施設の充実、上映映像作品の更新)
- ・広報、案内の充実(観客誘致、広報宣伝等)

# 公共施設のコスト計算書

施設名	栗林公園		
所在地	高松市栗林町一丁目1564番地の2	供用開始年度	明治8年
施設の種類	特別名勝、都市公園	施設設置根拠	香川県都市公園条例
設置目的	公共の福祉の増進に資する都市公園としての役割と貴重な文化財の保存と観光資源の活用を図るため		
施設運営方法	直接運営		
整備事業費		施設の概要	
		【施設】 国の特別名勝に指定されている庭園の中で、最大の広さを持つ江戸時代初期の回遊式大名庭園。明治4年に高松藩が廃され、新政府の所有となったが、明治8年、県立公園として一般公開され、現在に至る。	
		【職員の状況】	
利用料金	入園料	所長 { 総務課長 — 副主幹(1)主任(2) 造園課長 — 副主幹(1)(造園)主任(6)(造園技術6名)	{ 文化財専門員(1)嘱託(4) { 主席技師(2)(管理員2名)技師(2)(造園技術2名)嘱託(2)
大人	410円		
小人	170円		

## 行政コスト計算書

【行政コスト】		平成 29 年度	(千円)		
項目		当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト	人件費	231,658	55.3%	218,619	13,039
	退職給与引当金繰入等				
	小計	231,658	55.3%	218,619	13,039
物にかかるコスト	物件費	119,821	28.6%	128,810	△ 8,989
	維持補修費	16,642	4.0%	6,206	10,436
	減価償却費	49,300	11.8%	48,230	1,070
	その他				
	小計	185,763	44.4%	183,246	2,517
その他のコスト	公債費(利子のみ)	1,238	0.3%	868	370
	その他				
	小計	1,238	0.3%	868	370
行政コスト合計 ①		418,659	100.0%	402,733	15,926

【収入項目】					
使用料・手数料		255,637	61.0%	241,536	14,101
国庫支出金		1,188	0.3%	12,661	△ 11,473
その他		20,054	4.8%	14,413	5,641
計 ②		276,879	66.1%	268,610	8,269
県単独負担額 ①-②		141,780	33.9%	134,123	7,657

●県債残高(H30.3.31現在)

352,560 千円

●利用の状況

(年間入園者数)

H27	661,697
H28	709,839
H29	773,370

(個人での利用率)

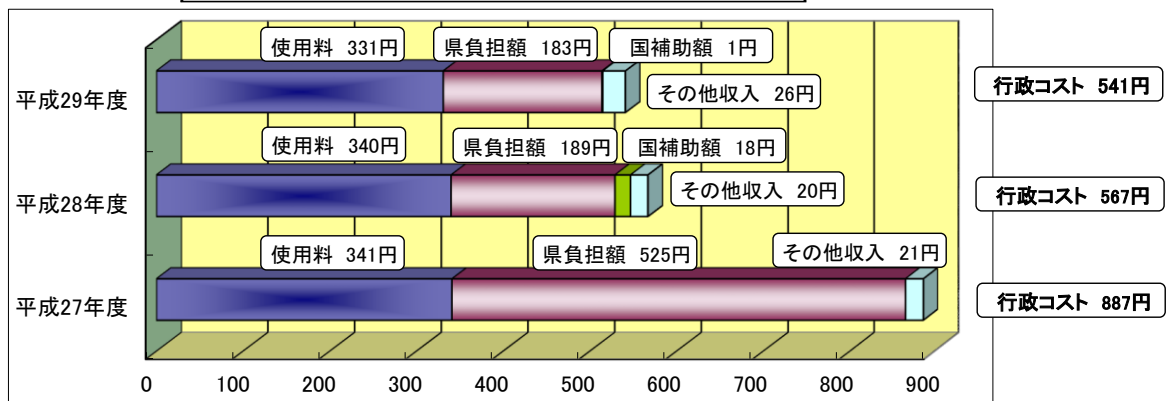
H27	88.8%
H28	88.8%
H29	90.0%

●コスト指標

(入園者1人当たりにかかるコスト)

H27	887円
H28	567円
H29	541円

## 入園者1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

本園は、約75haにも及ぶ文化財庭園であるが、29年度についても、利用者の利便性の向上を図るため、園内既存施設の修繕等を行いつつも、園内資源を利用したり、効果的・効率的な運営により経費縮減に努めた。  
 また、各種イベントの実施や接遇面の向上を目指すなど集客力を高める取組みを引き続き実施したことで、入園者の増加に努めた。

# 公共施設のコスト計算書

施設名	香川用水記念公園		
所在地	三豊市財田町財田中2355	供用開始年度	平成9年度
施設の種類	公園	施設設置根拠	香川用水記念公園条例
設置目的	香川用水の歴史と恩恵を永く後世に伝える。		
施設運営方法	全部委託: 指定管理者(公益財団法人かがわ水と緑の財団)		
整備事業費	3,367,978千円	施設の概要	
県債	2,947,000千円	【施設】 設備面積: 6ha	
一般財源	420,978千円	屋外施設 遊具(足踏水車、3連水車、アルキメデスのポンプ等)	
		駐車場 3ヶ所	
		屋外建築 休憩所 1ヶ所 便所 3ヶ所 機械棟 1棟 汚水処理施設 1棟	
利用料金	観覧料		
無料開放		水の資料館 RC鉄筋コンクリート造 地上3階建	
		建築面積 779㎡ 延べ床面積 1,728㎡	
		【職員の状況】	
		職員 3名 臨時職員 3名	

## 行政コスト計算書

【行政コスト】 平成 29 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	15,404	18.5%	15,603	△ 199
	退職給与引当金繰入等				
	小計	15,404	18.5%	15,603	△ 199
物にかかるコスト	物件費	10,845	13.0%	10,470	375
	維持補修費	25,799	30.9%	28,323	△ 2,524
	減価償却費	28,559	34.3%	28,559	
	その他	1,249	1.5%	1,311	△ 62
	小計	66,452	79.7%	68,663	△ 2,211
その他のコスト	公債費(利子のみ)	1,475	1.8%	4,077	△ 2,602
	その他				
	小計	1,475	1.8%	4,077	△ 2,602
行政コスト合計 ①	83,331	100.0%	88,343	△ 5,012	

●県債残高(H30.3.31現在)

777,965 千円

●利用の状況

(年間入園者数)

H27	67,335人
H28	65,545人
H29	67,450人

●コスト指標

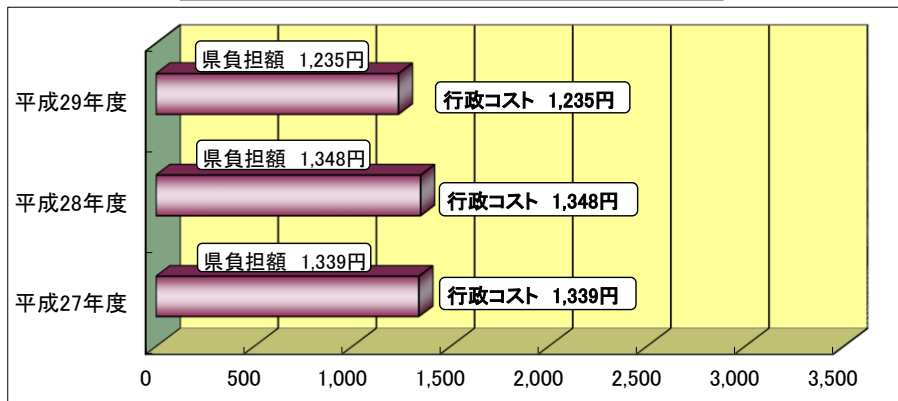
(入園者1人当たりのコスト)

H27	1,339円
H28	1,348円
H29	1,235円

【収入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
使用料・手数料				
国庫支出金				
その他				
計 ②				
県単独負担額 ①-②	83,331	100.0%	88,343	△ 5,012

## 入園者1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

- ・公園の概要を紹介するパンフレットを県内の全小中学校及び幼稚園・保育所等に配付
- ・電気使用量をデマンド管理し、省エネ及び経費節減に取り組んでいる
- ・自主事業として、校外学習と親子体験教室の開催

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県産業交流センター		
所在地	高松市林町2217-1	供用開始年度	平成5年度
施設の種類	コンベンション施設	施設設置根拠	香川県産業交流センター条例
設置目的	人・物・情報の集積、交流、発信の場として、見本市、展示会などを介した産業交流、技術開発の促進により、地域産業や経済の活性化に寄与する。		
施設運営方法	全部委託: 指定管理者(穴吹エンタープライズ株式会社)		
整備事業費	10,679,105千円	施設の概要	
県債	8,518,000千円	【施設】	地下1階、地上3階(鉄筋コンクリート造)延床面積約12000㎡、敷地約37000㎡
繰入	1,280,000千円		大展示場 4015㎡
一般財源	881,105千円		小展示場 1022㎡
			サンメッセホール 516㎡
			その他、会議室等
利用料金	利用料	【職員の状況】	
大展示場全面平日全日	455,600円	指定管理者職員	12名
小展示場平日全日	154,200円		
大会議室全面全日	76,840円		
※(全日: 9:00~17:00)			

行政コスト計算書

【行政コスト】 平成 29 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト				
人件費	49,618	13.7%	46,227	3,391
小計	49,618	13.7%	46,227	3,391
物にかかるコスト				
物件費	112,270	31.1%	116,509	△ 4,239
維持補修費	55,006	15.2%	49,898	5,108
減価償却費	137,873	38.2%	137,873	
その他	6,412	1.8%	4,455	1,957
小計	311,561	86.3%	308,735	2,826
その他のコスト				
公債費(利子のみ)				
その他				
小計				
行政コスト合計 ①	361,179	100.0%	354,962	6,217

【収入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
使用料・手数料	215,188	59.6%	220,363	△ 5,175
国庫支出金				
その他	2,095	0.6%		2,095
計 ②	217,283	60.2%	220,363	△ 3,080
県単独負担額 ①-②	143,896	39.8%	134,599	9,297

●県債残高(H30.3.31現在)

- 千円

●利用の状況

(年間利用者数)

H27	644,000人
H28	644,000人
H29	644,000人

(大展示場の稼働率)

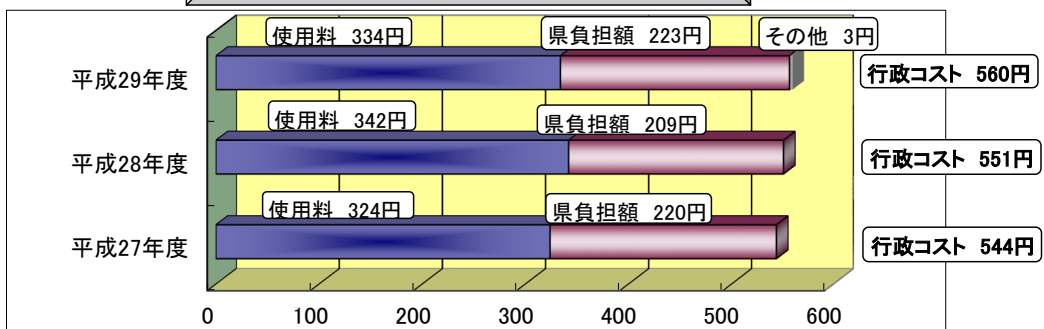
H27	57.0%
H28	55.3%
H29	51.8%

●コスト指標

(利用者1人当たりにかかるコスト)

H27	544円
H28	551円
H29	560円

利用者1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

平成20年度よりCS活動を継続的に行うことにより、主催者・設営業者・来場者の意見を把握して、一層利用しやすいように施設環境を改善するなど、顧客サービス向上に努めているほか、展示会の利用促進を図るため、企業や既往利用者に対し、施設利用時や電話による呼びかけ及び訪問営業を行っている。



公共施設のコスト計算書

施設名	香川県新規産業創出支援センター(ネクスト香川)		
所在地	高松市林町2217-44	供用開始年度	平成11年度
施設の種類	産業支援施設	施設設置根拠	香川県新規産業創出支援センター条例
設置目的	企業等の技術の高度化や新分野進出等を支援することにより、本県の産業の振興を図る。		
施設運営方法	全部委託: 指定管理((公財)かがわ産業支援財団)		
整備事業費	1,722,336千円	施設の概要	
県債	927,000千円	【施設】 鉄骨造・3階 敷地面積2,500㎡、延床面積2,721㎡ インキュベート工房、EMC総合試験施設(大型・小型電波暗室等)	
国庫支出金	640,740千円		
一般財源	154,596千円		
利用料金	使用料	【職員の状況】	
インキュベート工房使用料	1,540~3,080円/㎡	指定管理者職員(嘱託職員) 2名	
電波暗室使用料	2,280~35,130円/時間	指定管理者職員(臨時職員) 3名	
会議室使用料等	110円~1,540円/時間		
電磁波特性試験手数料	4,850円~30,160円/通		
電磁環境試験成績書発行手数料	410円~21,600円/通		

行政コスト計算書					
【行政コスト】		平成	29年度	(千円)	
	項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト	人件費	15,805	19.8%	15,215	590
	退職給与引当金繰入等				
	小計	15,805	19.8%	15,215	590
物にかかるコスト	物件費	14,275	17.9%	10,165	4,110
	維持補修費	19,340	24.2%	18,408	932
	減価償却費	28,292	35.5%	28,292	
	その他				
	小計	61,907	77.6%	56,865	5,042
その他のコスト	公債費(利子のみ)	793	1.0%	859	△ 66
	その他	1,263	1.6%	1,563	△ 300
	小計	2,056	2.6%	2,422	△ 366
行政コスト合計 ①		79,768	100.0%	74,502	5,266

【収入項目】					
	使用料・手数料	59,177	74.2%	49,284	9,893
	国庫支出金				
	その他	0		400	△ 400
	計 ②	59,177	74.2%	49,684	9,493
	県単独負担額 ①-②	20,591	25.8%	24,818	△ 4,227

● 県債残高(H30.3.31現在) 370,692千円

● 利用の状況  
(インキュベート工房入居企業数)

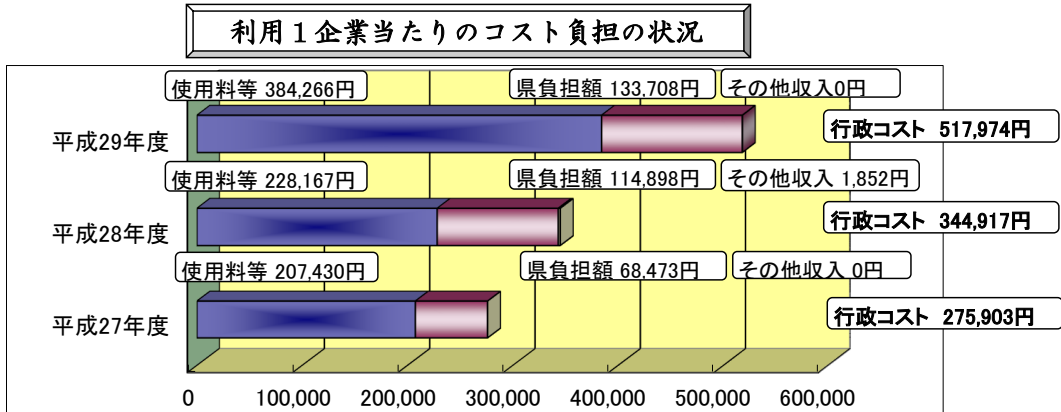
H27	6社
H28	4社
H29	7社

(EMC総合試験施設利用企業数)

H27	延べ252社
H28	延べ212社
H29	延べ147社

● コスト指標  
(利用1企業当たりのコスト)

H27	275,903円
H28	344,917円
H29	517,974円



● コスト縮減、利用向上に向けた取り組み状況

施設の利用者に対し、こまめに節水・節電などの呼びかけを行うことにより経費の節減に努めた。指定管理者のホームページ等への掲載、企業訪問などによりインキュベート工房の入居者募集を行った。また、指定管理者のホームページでEMC総合試験施設の紹介及び予約状況を掲載するとともに企業を対象に、施設の周知説明会等を行った。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県科学技術研究センター(FROM香川)		
所在地	高松市林町2217-16	供用開始年度	平成12年度
施設の種類	産業支援施設	施設設置根拠	香川県科学技術研究センター条例
設置目的	産学官の連携による科学技術に関する研究開発を促進することによりその成果を活用した新規産業の創出及び地域産業の技術の高度化を図る。		
施設運営方法	全部委託: 指定管理者((公財)かがわ産業支援財団)		
整備事業費	2,425,723千円	施設の概要	
県債	2,262,000千円	【施設】 鉄骨造・3階 敷地面積4,872㎡、延床面積3,106㎡ 研究室(レンタル・ラボ)、共同機器室、バイオ関連共同実験室	
一般財源	163,723千円		
		【職員の状況】 指定管理者職員(県派遣職員) 0.1名	
利用料金	使用料		
研究室使用料	0~3,080円/㎡		
共同機器室機器使用料	670~4,320円/時間		
バイオ関連共同実験室機器使用料	20~350円/時間		

行政コスト計算書				
【行政コスト】		平成	29年度	(千円)
	項目	当該年度	構成比	前年度
人にかかるコスト	人件費	職員0.1名分はネクスト香川に一括計上		
	退職給与引当金繰入等			
	小計			
物にかかるコスト	物件費	8,456	12.1%	9,578
	維持補修費	24,374	34.7%	23,189
	減価償却費	34,790	49.6%	34,790
	その他			
	小計	67,620	96.4%	67,557
その他のコスト	公債費(利子のみ)	2,523	3.5%	2,711
	その他	18	0.1%	55
	小計	2,541	3.6%	2,766
行政コスト合計 ①		70,161	100.0%	70,323

【収入項目】				
	使用料・手数料	37	0.1%	30
	国庫支出金			
	その他			
	計 ②	37	0.1%	30
県単独負担額 ①-②		70,124	99.9%	70,293

● 県債残高(H30.3.31現在) 488,077千円

● 利用の状況 (研究室入居グループ数)

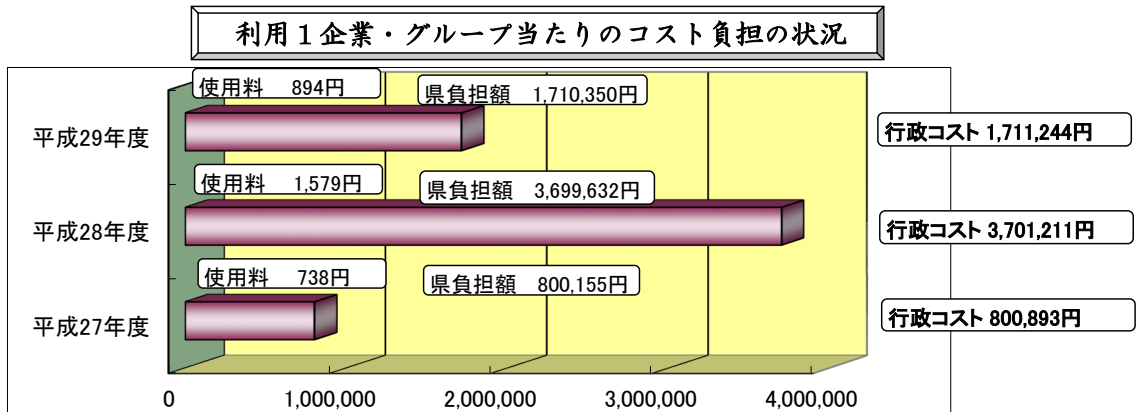
H27	11グループ
H28	10グループ
H29	12グループ

(共同機器室等利用企業・グループ数)

H27	延べ73
H28	延べ9
H29	延べ29

● コスト指標 (利用1企業・グループ当たりのコスト)

H27	800,893円
H28	3,701,211円
H29	1,711,244円



● コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

施設の利用者に対し、こまめに節水・節電などの呼びかけを行うことにより経費の節減に努めた。企業や大学等の研究開発を支援するためバイオ関連の研究機器等を安価な使用料で開放しており、指定管理者のホームページ等でその利用を呼びかけるとともに、機器の講習会を開催するなど利用の促進に努めた。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県番町地下駐車場		
所在地	高松市番町3丁目1番1号	供用開始年度	平成5年度
施設の種類	駐車場	施設設置根拠	香川県駐車場条例
設置目的	高松市中心部の駐車場不足に対処し、道路交通の円滑化を図り、もって県民の利便に資する。		
施設運営方法	全部委託: 指定管理者(西日本ビル管理株式会社)		
整備事業費	4,534,606千円	施設の概要	
県債	4,530,000千円	【施設】	鉄筋コンクリート造、地下2階、自走式
その他	4,606千円		延べ 13,568.2㎡
			駐車台数339台
利用料金	使用料	【職員の状況】	
普通料金(25分ごと)(H18.8~)	100円		指定管理者職員6人(状況に応じて本社より応援要員派遣)
昼間割引(7:00~18:00)(土日祝のみ)	最大1,200円		
夜間割引(18:00~8:00)	最大800円		
定期駐車(1台につき1月)	20,000円		
定期駐車(1台につき3月)	54,000円		
定期駐車(1台につき6月)	96,000円		

行政コスト計算書

【行政コスト】 平成 29 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト				
人件費	12,253	9.1%	12,272	△ 19
小計	12,253	9.1%	12,272	△ 19
物にかかるコスト				
物件費	13,264	9.8%	13,317	△ 53
維持補修費	806	0.6%	495	311
減価償却費	90,692	67.3%	90,692	
その他	4,021	3.0%	4,479	△ 458
小計	108,783	80.7%	108,983	△ 200
その他のコスト				
公債費(利子のみ)				
その他	13,803	10.2%	13,382	421
小計	13,803	10.2%	13,382	421
行政コスト合計 ①	134,839	100.0%	134,637	202

【収入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
使用料・手数料	69,720	51.7%	70,233	△ 513
国庫支出金				
その他	998	0.7%	1,127	△ 129
計 ②	70,718	52.4%	71,360	△ 642
県単独負担額 ①-②	64,121	47.6%	63,277	844

● 県債残高 (H30.3.31現在)

— 千円

● 利用の状況

(年間駐車台数)

H27	107,593台
H28	98,634台
H29	101,005台

(1台当たり平均使用料)

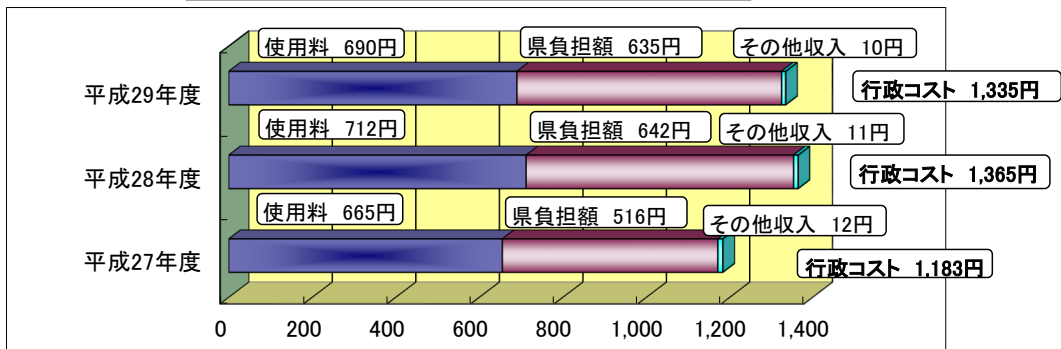
H27	655円
H28	712円
H29	690円

● コスト指標

(1台当たりにかかるコスト)

H27	1,183円
H28	1,365円
H29	1,335円

駐車1台当たりのコスト負担の状況



● コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

回数券(500枚綴り、1000枚綴り)をPRし、定期的な利用者の獲得に努めた。  
 近隣施設への営業活動等により、通勤者の利用促進を図った。  
 利用頻度の高い電灯については、LED化を図るなど、管理運営費の縮減に努めた。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県玉藻町駐車場		
所在地	高松市玉藻町12番2号	供用開始年度	平成9年度
施設の種類	駐車場	施設設置根拠	香川県駐車場条例
設置目的	玉藻地区における駐車場不足の解消及び道路交通の円滑化を図り、県民の利便に資する。		
施設運営方法	全部委託：指定管理者（西日本ビル管理株式会社）		
整備事業費	3,449,782千円	施設の概要	
県債	3,198,000千円	【施設】	鉄骨造（一部PC造）、地上3階、自走式 延べ 11,409.99㎡ 駐車台数333台
その他	251,782千円		
利用料金	使用料	【職員の状況】	指定管理者職員5人（状況に応じて本社より応援要員派遣）
普通料金(25分ごと)(H18.8～)	100円		
夜間割引(23:00～7:30)	最大500円		
定期駐車(1台につき1月)	14,000円		
定期駐車(1台につき3月)	37,800円		
定期駐車(1台につき6月)	67,200円		

行政コスト計算書

【行政コスト】 平成 29 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト				
人件費	11,550	10.2%	11,148	402
小計	11,550	10.2%	11,148	402
物にかかるコスト				
物件費	14,036	12.4%	7,056	6,980
維持補修費	74	0.1%	962	△ 888
減価償却費	68,996	61.1%	68,996	
その他	11,548	10.2%	12,702	△ 1,154
小計	94,654	83.8%	89,716	4,938
その他のコスト				
公債費(利子のみ)	2,136	1.9%	5,639	△ 3,503
その他	4,682	4.1%	4,703	△ 21
小計	6,818	6.0%	10,342	△ 3,524
行政コスト合計 ①	113,022	100.0%	111,206	1,816

【収入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
使用料・手数料	53,652	47.5%	61,637	△ 7,985
国庫支出金				
その他				
計 ②	53,652	47.5%	61,637	△ 7,985
県単独自負担額 ①-②	59,370	52.5%	49,569	9,801

●県債残高(H30.3.31現在)

- 千円

●利用の状況

(年間駐車台数)

H27	81,244台
H28	73,270台
H29	65,650台

(1台当たり平均使用料)

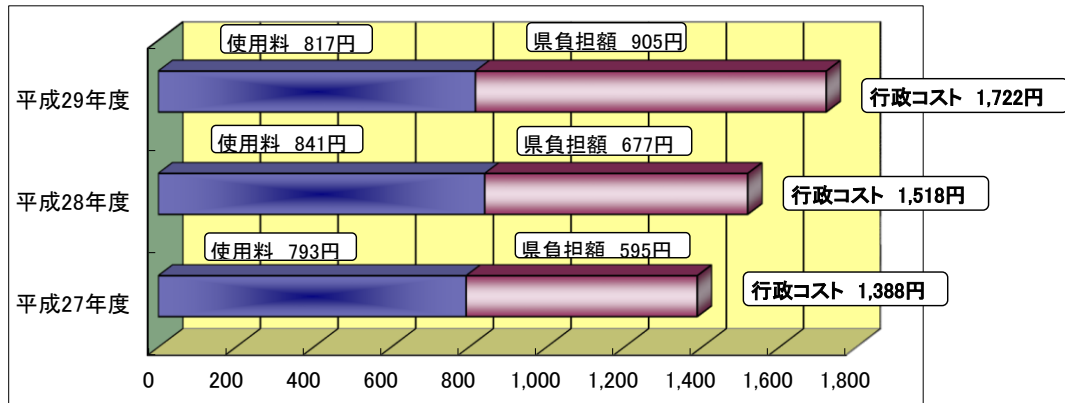
H27	793円
H28	841円
H29	817円

●コスト指標

(1台当たりにかかるコスト)

H27	1,388円
H28	1,518円
H29	1,722円

駐車1台当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

回数券(500枚綴り、1000枚綴り)をPRし、定期的な利用者の獲得に努めた。  
 近隣施設への営業活動等により、通勤者の利用促進を図った。  
 利用頻度の高い電灯については、LED化を図るなど、管理運営費の縮減に努めた。

# 公共施設のコスト計算書

施設名	多目的広場地下駐車場		
所在地	香川県高松市サンポート4	供用開始年度	平成16年度
施設の種類	駐車場	施設設置根拠	香川県サンポート高松交流拠点施設条例
設置目的	サンポート高松地区における施設整備等に伴う駐車場需要に対応するため。		
施設運営方法	全部委託：指定管理者(シンボルタワー開発株式会社)		
整備事業費	5,949,800千円	施設の概要	
県債	5,092,000千円	【施設】	
その他	857,800千円	鉄筋コンクリート、地下2階、自走式	
		延べ 駐車場:14,056㎡、連絡通路:1,093㎡	
		駐車台数302台	
利用料金	使用料	【職員の状況】	
普通料金(2h未満 20分毎)	100円	シンボルタワー開発株式会社(指定管理者)の職員10人でサンポート高松の施設を	
普通料金(2h～6h 30分毎)	100円	管理運営	
普通料金(6h～12h)	1,400円	このうち1.3人分を多目的広場地下駐車場で負担	
平日定期(平日6:30～24:00、1月)	18,000円		
夜間定期(17:30～9:00、1月)	10,000円		

## 行政コスト計算書

【行政コスト】 平成 29 年度 (千円)

項目		当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト	人件費	6,352	3.3%	6,084	268
	退職給与引当金繰入等				
	小計	6,352	3.3%	6,084	268
物にかかるコスト	物件費	14,355	7.4%	15,122	△ 767
	維持補修費	28,787	14.7%	32,810	△ 4,023
	減価償却費	118,996	60.9%	118,996	
	その他	65	0.0%	148	△ 83
	小計	162,203	83.0%	167,076	△ 4,873
その他のコスト	公債費(利子のみ)	19,508	10.0%	22,314	△ 2,806
	その他	7,167	3.7%	9,000	△ 1,833
	小計	26,675	13.7%	31,314	△ 4,639
行政コスト合計 ①		195,230	100.0%	204,474	△ 9,244

【歳入項目】

使用料・手数料	90,477	46.3%	89,887	590
国庫支出金				
その他				
計 ②	90,477	46.3%	89,887	590
県単独負担額 ①-②	104,753	53.7%	114,587	△ 9,834

● 県債残高(H30.3.31現在)

1,274,508 千円

● 利用の状況

(年間駐車台数)

H27	119,156台
H28	123,980台
H29	123,682台

(1台当たり平均使用料)

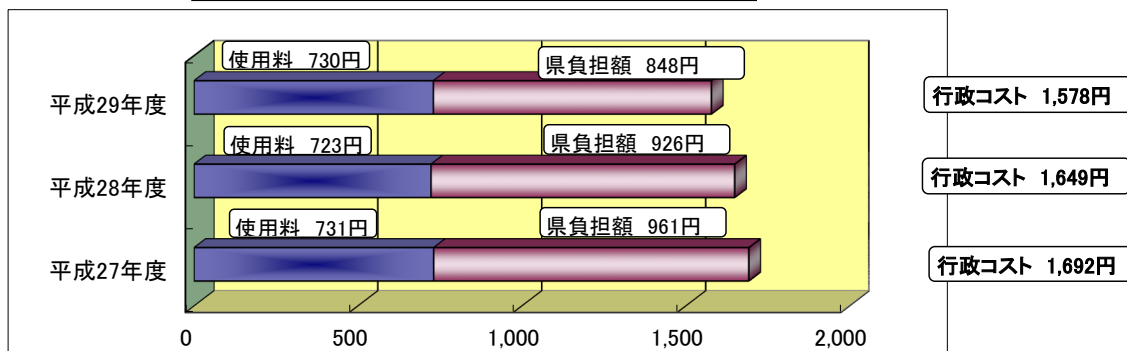
H27	731円
H28	723円
H29	730円

● コスト指標

(1台当たりにかかるコスト)

H27	1,692円
H28	1,649円
H29	1,578円

## 駐車1台当たりのコスト負担の状況



● コスト縮減、利用向上に向けた取り組み状況

18年度から指定管理者を公募したことによるコスト縮減が図られている。  
また、指定管理者の広報・営業により利用促進を図るとともに、利用者の視点に立った利便性の向上に努めた。

# 公共施設のコスト計算書

施設名	高松空港県営駐車場		
所在地	高松市香南町大字岡1264-6他	供用開始年度	平成26年度
施設の種類	駐車場	施設設置根拠	香川県駐車場条例
設置目的	高松空港における駐車場需要に対応し、利用者の利便に資する。		
施設運営方法	一部委託(使用料収納、維持管理)		
整備事業費	80,394千円	施設の概要	<b>【施設】</b> 屋外平面駐車場 駐車場:1,718.63㎡、車路:4,409.03㎡ 駐車台数150台
県債	77,000千円		
その他	3,394千円		
利用料金	使用料	【職員の状況】	専任職員は設けず、民間業者への業務委託による管理運営
30分まで	無料		
30分～2時間、30分毎	100円		
2時間以上24時間まで、1時間毎	150円		
5時間以上24時間まで	800円		
定期料金(1台につき1月)	5,140円		
定期料金(1台につき3月)	13,870円		
定期料金(1台につき6月)	24,670円		

行政コスト計算書					
【行政コスト】		平成	29年度	(千円)	
項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費				
	退職給与引当金繰入等				
	小計				
物にかかるコスト	物件費	1,994	63.6%	1,956	38
	維持補修費				
	減価償却費				
	その他	527	16.8%	1,107	△ 580
	小計	2,521	80.4%	3,063	△ 542
その他のコスト	公債費(利子のみ)	616	19.6%	616	
	その他				
	小計	616	19.6%	616	
行政コスト合計 ①	3,137	100.0%	3,679	△ 542	
【歳入項目】					
使用料・手数料	10,587	337.5%	8,968	1,619	
国庫支出金					
その他					
計 ②	10,587	337.5%	8,968	1,619	
県単独負担額 ①-②	△ 7,450	-237.5%	△ 5,289	△ 2,161	

●県債残高(H30.3.31現在)

77,000千円

●利用の状況

(年間駐車台数)

H27	31,263台
H28	34,079台
H29	35,234台

(1台当たり平均使用料)

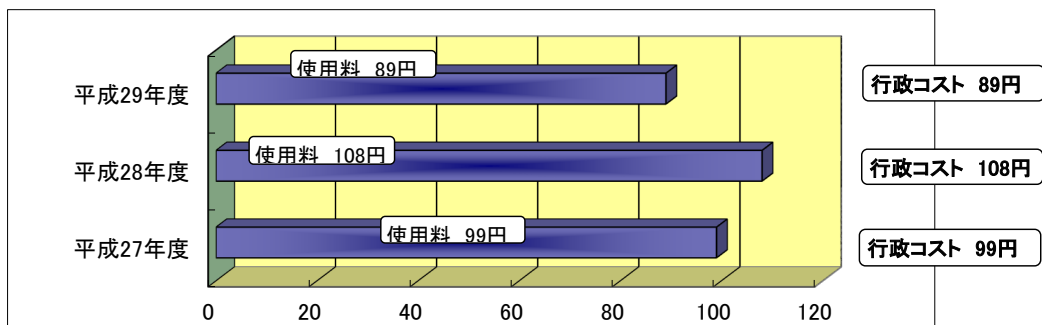
H27	266円
H28	263円
H29	300円

●コスト指標

(1台当たりにかかるコスト)

H27	99円
H28	108円
H29	89円

## 駐車1台当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

満空看板や空港HPにて駐車場の満空情報を周知し、利用者の利便性を向上した。